

October 2025

THE 84TH ANNUAL MEETING OF THE JAPANESE SOCIETY OF PUBLIC HEALTH

第84回日本公衆衛生学会総会

フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理

プログラム概要 / 静岡県市町保健活動紹介小冊子

静 岡

2025年10月29日(水)～31日(金)

プレ企画：28日(火)

グランシップ (静岡県コンベンションアーツセンター・静岡市)

参加される方へのお知らせ

総会 HP (<https://plaza.umin.ac.jp/jsph84/index.html>) より詳細ご確認ください。

1. 第 84 回総会にご参加の皆様へ

(1) 参加証（ネームカード）の着用について

会場へ入場するには、必ず参加証（ネームカード）をご着用ください。

(2) 当日受付

場所：グランシップ 1F ホワイエ

日時：10月29日（水）8:15～17:30

10月30日（木）8:15～17:30

10月31日（金）8:15～15:00

(3) クロークについて

下記の通り、大ホール（第18会場）にクロークをご用意いたします。

スペースに限りがございますので、荷物が収容数を超えた場合には、別の場所のご案内や、お預かりをお断りすることがございます。予めご了承ください。

日時：10月29日（水）8:15～20:30

10月30日（木）8:15～20:30

10月31日（金）8:15～18:00

(4) 写真撮影および録音・録画

<写真撮影>

本総会では、写真撮影について一律で禁止は行いません。しかし、発表内容を紹介したい、顔がわかる写真をSNSに載せたいなど個人的な使用を超える場合には、発表者や、写っている人等の許可を得てください。

ご自身の発表について写真撮影を禁止したい場合には、その旨を発表時に明示してください。特定の資料のみを禁止することもできます。

写真撮影の際に、フラッシュを使用しないでください。

<動画撮影・録音>

発表等の録画・録音については関係者の記録用を除き禁止します。

(5) アプリおよび抄録集など

セッションの検索、抄録の閲覧、お知らせ等の機能のConfit学会アプリを導入します。Google PlayストアやApp Storeからインストールしてください。また、LINEによる情報提供を行います。オンライン抄録集（pdfファイル）は、本総会 HP (<https://plaza.umin.ac.jp/jsph84/index.html>) よりご覧ください。閲覧パスワード：jsph84shizuoka

(6) 時差参加のお願い

JRの静岡ー東静岡駅の1駅について、列車に乗りきれない混雑が予想されますので、時差参加をお願いします。開場は8:00のため、少し遅めがおすすめです。

(7) ランチョンセミナー申込

ランチョンセミナーは事前申込制となります。

申込みは参加登録システム内で受付します。詳細は総会ホームページをご確認ください。

※該当セミナー開始時間後に無効となりますのでご注意ください。

(8) 昼食について

ランチョンセミナーで配布するお弁当数には限りがございますので、キッチンカーも併せてご利用ください。

また、休憩コーナー等で飲食可能な場所をご用意していますので、静岡駅の駅弁等を買ってこられるのも良いでしょう。

(9) 休憩コーナーについて

1階大ホール（第18会場）、3階ロビー、6階展示ギャラリー（第17会場）に休憩コーナーを設けます。また、9階

905に瞑想休憩室を設けます。特に、3階ロビーは数種類の飲み物を用意する予定ですのでご利用ください。なお、準備した飲み物が無くなりました際にはご容赦ください。

(10) スタンプラリーについて

企業展示、一般展示、企画展示を回っていただき、一定数以上のスタンプを集めると抽選で種々の賞品が当たるスタンプラリーを行います。ふるってご参加ください。

スタンプラリーを行えるのは、会期を通して1人1枚のみです。複数枚提出した方がいた場合には関係者で共有することがあります。

他の人のシートを預かって、一緒にスタンプを押してもらうことはできません。また賞品との交換にはご本人がお越しください。1日毎に、賞品の数に限りがあります。その日の分が終了した場合にはご容赦ください。

(11) 託児について

グランシップ内に託児所を設けております。第84回日本公衆衛生学会総会 HP で詳細をご確認ください。

(12) 子連れ参加について

本総会では、お子様を同伴してのご参加を歓迎しますが、以下の点にご留意ください。

他の参加者へのご配慮をお願いいたします。お子様の様子によっては、状況に応じて一時的に会場外へご退室いただくなどのご協力をお願い申し上げます。

会場内でのお子様の安全管理は、保護者の責任となります。

高校生以上のお子様は、参加登録をして名札の作成をお願いします。中学生以下は不要です。

一般の参加者の皆様におかれましても、お子様連れの参加に関してご理解いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(13) 会場での呼び出しについて

会場内での呼び出しは、原則として行いません。総合受付付近の連絡板をご利用ください。会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定をお願いいたします。

(14) 災害対応について

火災、地震、風水害等の災害対応について抄録集に記載しています。ご一読ください。

(15) 表彰式

本総会では、以下の通り、表彰式を開催いたします。

■優秀演題賞表彰式

日時：10月29日（水）意見交換会にて（18:00～） 会場：大ホール 海

■奨励賞表彰式

日時：10月30日（木）奨励賞受賞講演にて（14:40～） 会場：第6会場（9F 908）

■国際参加賞表彰式

日時：10月30日（木）国際参加賞受賞講演にて（12:50～） 会場：第7会場（2F 映像ホール）

■功労賞等表彰式

日時：10月30日（木）総会にて（18:00～） 会場：第1会場（1F 中ホール）

2. ①講演・シンポジウム・ランチョンセミナー等の演者の方

【当日のPC受付】

グランシップ 1F

- ・発表データの試写（確認）を自身で行っていただきます。
- ・必ずご発表のセッションの30分前までに、PC受付でご発表データの試写（確認）をお願いします。
- ・PC本体を持込みの場合も必ずPC受付にお立ち寄りください。
- ・PC受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮ください。

【当日のPC受付】

- ・10月29日（水）8:15～17:30
- ・10月30日（木）8:15～17:30
- ・10月31日（金）8:15～15:00

②一般演題（口演）、グループワークの演者の方

- ・発表するセッションの前の休憩時間までに、発表会場のパソコンの、該当セッションのフォルダにパワーポイントファイルを格納ください。直前の休憩時間だけではなく、前日に入れておくのもよいでしょう。
- ・ファイル名は、演題番号 氏名.pptx などとしてください。
- ・時間がありましたら、試写を行ってください。なお、パソコンへの格納を待っている人がいましたら、そちらを優先してください。
- ・発表時間になりましたら、該当のファイルを開いて発表をおこなってください。
- ・お困りのことがありましたら、会場のスタッフに支援を求めてください。

③一般演題（ポスター）の演者の方

ポスター会場と貼付日時

ポスター会場はグランシップ展示ギャラリー・大ホールです。指定の演題番号の場所に掲示してください。

月日	貼付時間	発表時間	撤去時間
10月29日（水）	9:00～12:00	16:10～17:40	17:40～18:30
10月30日（木）	9:00～12:00	16:10～17:40	17:40～18:30
10月31日（金）	9:00～12:00	14:10～15:40	15:40～16:30

- ・上記時間内に必ず貼付および撤去をお願いします。撤去時間以降に残っているポスターは事務局にて処分いたしますのでご了承ください。
- ・自由質疑のみの演題は、偶数番号は発表時間の前半に、奇数番号は後半の時間に、ポスターの前に待機して、参加者との質疑を行ってください。10月29日、30日は、前半が16:10～16:50、後半が17:00～17:40です。10月31日は、前半が14:10～14:50、後半が15:00～15:40です。

④一般演題（ラウンドテーブル）の演者の方

大ホールホワイエにラウンドテーブル会場を設けます。

グループワーク形式で島状に机と10人分程度の椅子を用意します。発表者は、紙芝居形式の発表資料または自分のパソコンを用いて、自分のグループの人に5～10分程度で発表をして、グループの人と質疑や意見交換をします。資料を配付することもできます。50分のセッションで、途中、席替えの声かけをしますので、新しい参加者に、再度説明をお願いします。

3. 座長・演者の皆様へ

総会 HP「座長・演者へのご案内」欄をご確認いただきますようお願いいたします。

4. 学会事務局

- ・開催期間中（10月29日（水）～31日（金）、プレ企画：28日（火））

グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

- ・上記期間以外

第84回日本公衆衛生学会 総会事務局

浜松医科大学健康社会医学講座

第84回日本公衆衛生学会総会 運営事務局

株式会社コングレ

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング

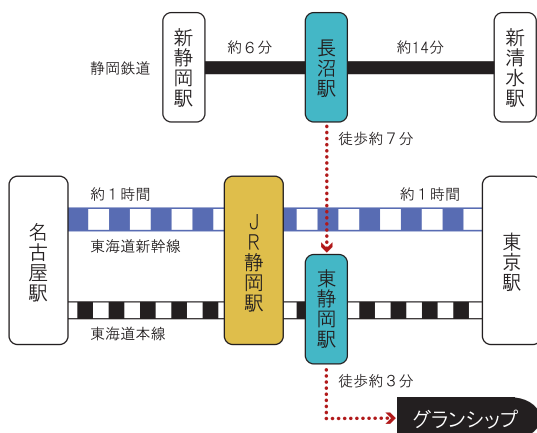
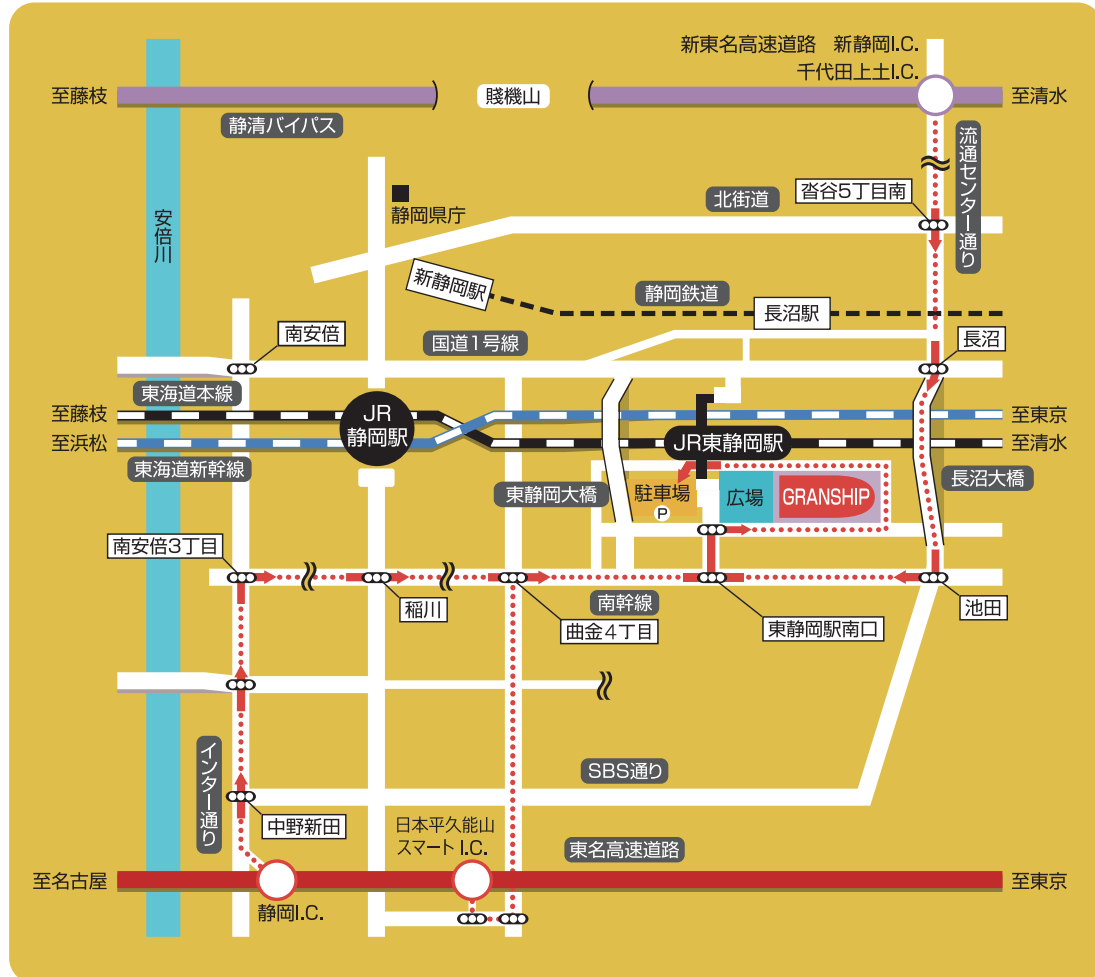
TEL: 022-723-3211 FAX: 022-723-3210 E-mail: jsph84@congre.co.jp

第84回日本公衆衛生学会総会プログラム委員会小冊子WG

野口泰司（浜松医科大学健康社会医学講座助教）、島村通子（静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課）、塩川尚子（静岡県中部健康福祉センター・中部保健所、全国保健師長会静岡県支部）、松島明子（静岡県東部健康福祉センター・東部保健所、全国保健師長会静岡県支部）、松島久記（地図イラスト作成）、明神大也（浜松医科大学健康社会医学講座准教授）、尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学講座教授）

会場への交通案内図

会場：グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）
 静岡市駿河区東静岡二丁目 3 番 1 号
 TEL: 054-203-5710



- JR 東静岡駅南口隣接
- 静岡鉄道長沼駅から徒歩 10 分
- 東海道新幹線（ひかり）で東京・名古屋から 1 時間、新大阪から 2 時間。
JR 静岡駅乗換、東静岡駅まで 3 分。
- 車では東名高速道路静岡 I.C. から 20 分、日本平久能山スマート I.C. から 10 分。
新東名高速道路新静岡 I.C. から 15 分。
静清バイパス千代田上土 I.C. から 10 分。

〔駐車場〕

グランシップ西側駐車場

駐車台数：普通車約 400 台

利用料金：200 円／1 時間

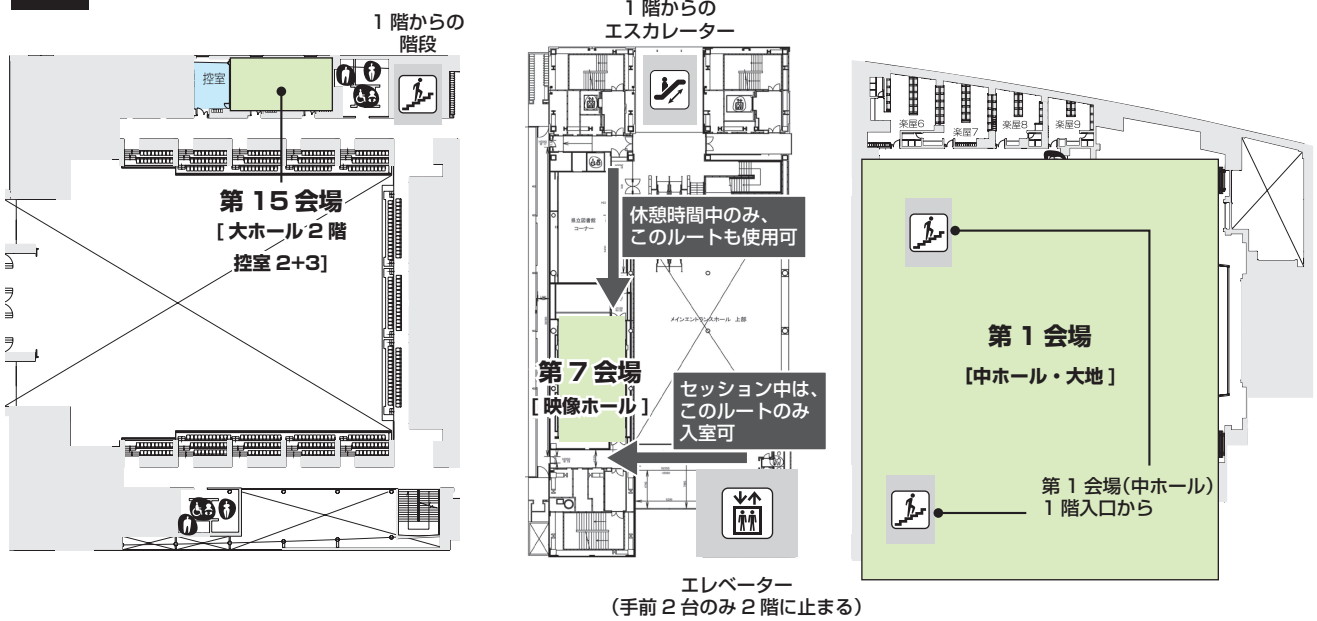
※グランシップ利用の方は 100 円／1 時間

※館内精算機にて精算要

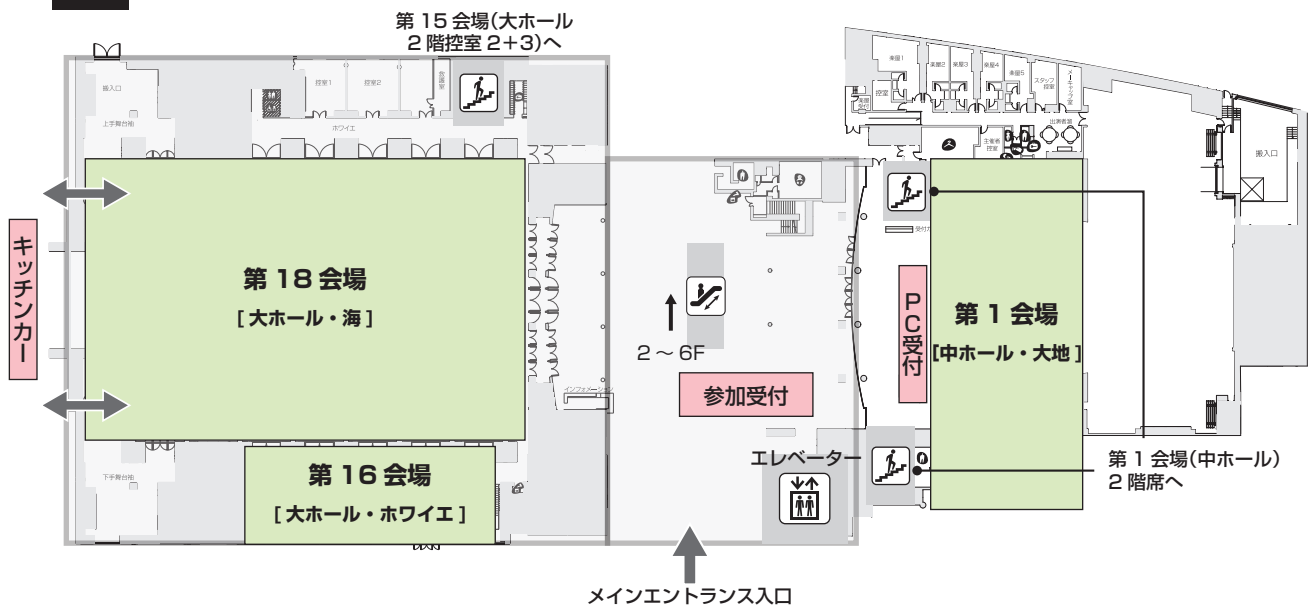
※入庫後 24 時間最大 1,500 円

会場案内図

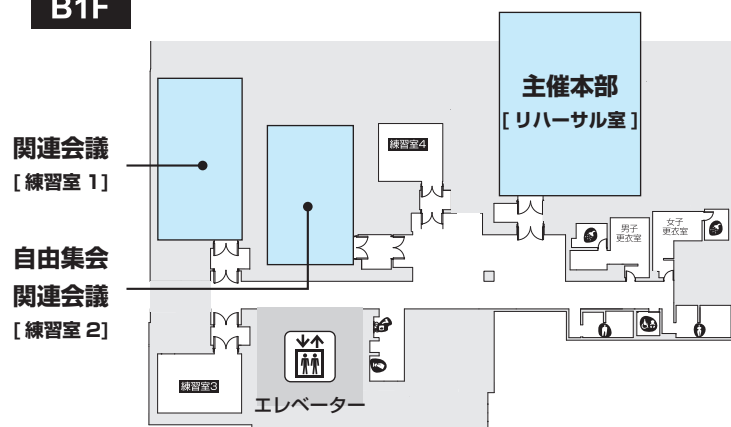
2F



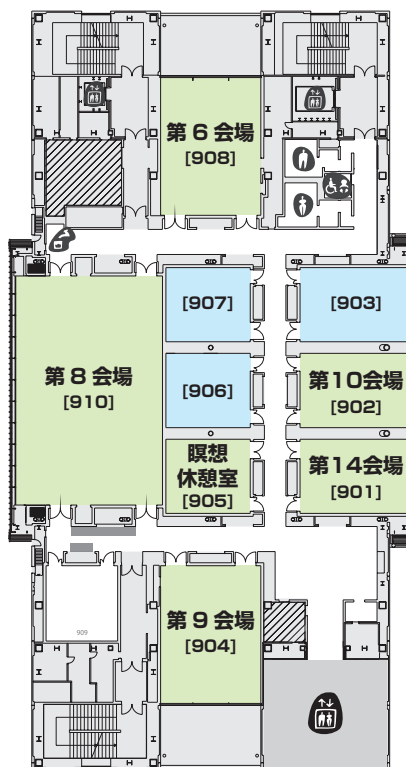
1F



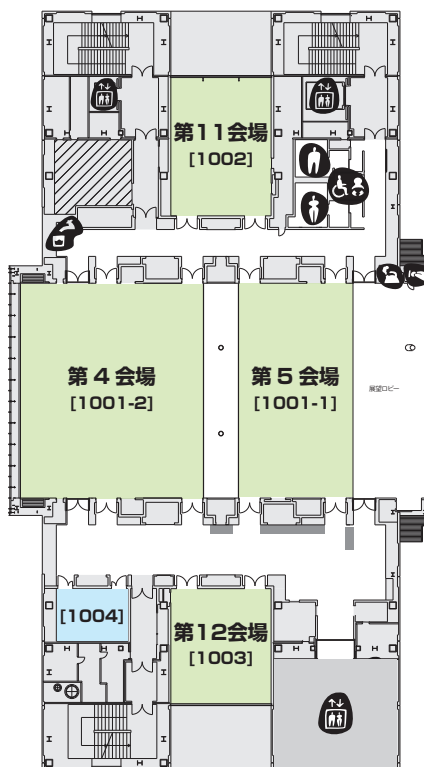
B1F



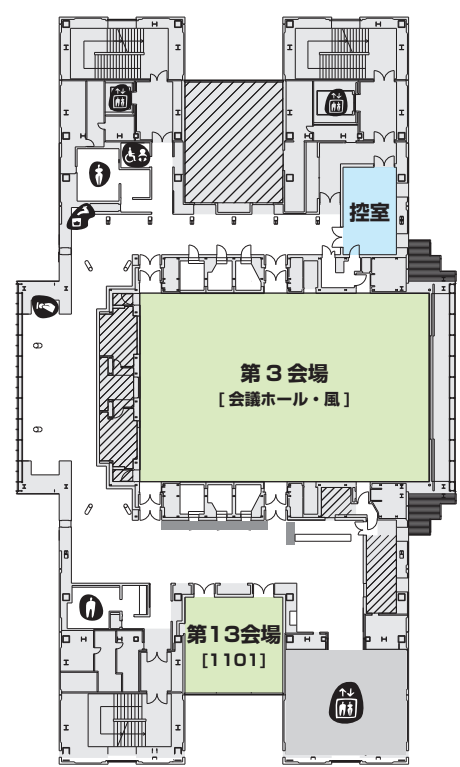
9F



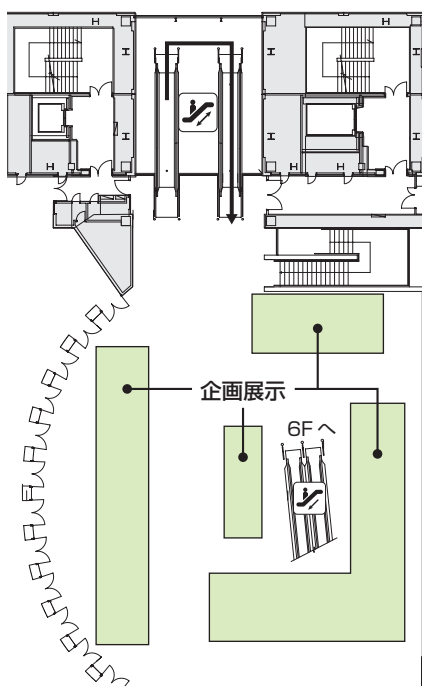
10 F



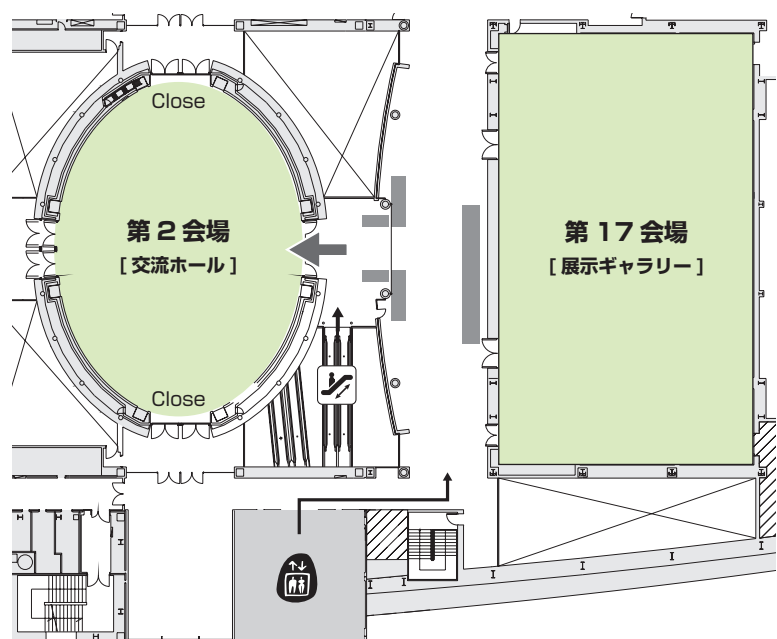
11 F



3F



6F



日程表

第0日目：2025年10月28日(火)

		8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ	第1会場 1階 中ホール													
	第2会場 6階 交流ホール													
	第3会場 11階 会議ホール							代議員会	理事会					
	第4会場 10階 1001-2													
	第5会場 10階 1001-1													
	第6会場 9階 908													
	第7会場 2階 映像ホール													
	第8会場 9階 910													
	第9会場 9階 904													
	第10会場 9階 902													
	第11会場 10階 1002													
	第12会場 10階 1003							全国衛生部長会 世話人会						
	第13会場 11階 1101					市立衛生研究所・ 衛生試験所連絡協議会総会								
	第14会場 9階 901							地方衛生研究所全国協議会学術委員会						
	第15会場 大ホール2階 控室2・3													
	第16会場 1階 大ホールホワイエ													
	第17会場 6階 展示ギャラリー 1～3													
	第18会場A 1階 大ホール													
	第18会場B 1階 大ホール													

[illegible]

第1日目：2025年10月29日(水)

		8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ	第1会場 1階 中ホール			45 シンポジウム 2 新時代の感染症危機管理体制 座長：四宮博人、吉村和久	15 開会式			講演 1 厚生労働行政の現状・課題について 演者：迫井正深			ランチョンセミナー1 共催：Boston Medical Sciences 株式会社		講演 2 音楽とともにある公衆衛生 演者：松居美樹 守田孝恵	
	第2会場 6階 交流ホール			シンポジウム 3 公衆衛生に国境はない 座長：中村安秀、大西真由美					45 ランチョンセミナー2 共催：日本生命保険 相互会社	45		優秀演題賞選考会		
	第3会場 11階 会議ホール			シンポジウム 5 地域リハビリテーションのあり方を考える 座長：大淵修一				15 シンポジウム 6 自治体での高齢者肺炎マネジメントの重要性 座長：角野文彦、福島若葉		45		ランチョンセミナー3 総会主催（静岡県）		
	第4会場 10階 1001-2			シンポジウム 9 多死社会に伴う公衆衛生上の課題と展望 座長：高杉友、武藤剛								シンポジウム 10 地方ブロック DHEAT 連携訓練を通して得た成果と課題 座長：武智浩之、服部希世子		
	第5会場 10階 1001-1			シンポジウム 13 スポーツ参加の促進要因探索と支援政策評価 座長：近藤克則、金森悟				シンポジウム 14 地域包括ケアと災害：静岡からの多文化共生 座長：松本良二、石田久美子						
	第6会場 9階 908			シンポジウム 17 健康危機と外国人リスクコミュニケーション 座長：須藤章、藤田雅美				シンポジウム 18 持続可能な高齢者にやさしいまちづくり 座長：辻大士、鄭丞媛				シンポジウム 19 データに基づく歯科口腔保健政策 座長：田口円裕、小栗智江子		
	第7会場 2階 映像ホール			シンポジウム 22 公衆衛生専門管理栄養士認定制度の創設 座長：由田克士、諸岡歩				シンポジウム 23 静岡発！食と生活習慣チェックの構築と活用 座長：中山健夫、山本精一郎				シンポジウム 24 環境による健康リスク-公的データの活用 座長：橋爪真弘、菊田香苗		
	第8会場 9階 910			グループワーク 3 サイバーセキュリティの脆弱さへの支援 座長：久保秀一、竹内公一、原田昌範							拡大編集委員会		グループワーク 4 実用的なサンプリング調査の企画 座長：磯博康、蜂矢正彦	
	第9会場 9階 904			グループワーク 7 あなたのまちの「治し、支える医療」 座長：小倉加恵子									グループワーク 8 「ケアとともに生きる家族」支援実践の課題 座長：涌井智子	
	第10会場 9階 902												自由集会 1 初めての QGIS を楽しもう会	
	第11会場 10階 1002			一般演題口演 第 1 分科会 1		一般演題口演 第 1 分科会 2		一般演題口演 第 1 分科会 3					一般演題口演 第 1 分科会 4	
	第12会場 10階 1003			一般演題口演 第 2 分科会 1		一般演題口演 第 2 分科会 2		一般演題口演 第 2 分科会 3					一般演題口演 第 3 分科会 1	
	第13会場 11階 1101			一般演題口演 第 3 分科会 4		一般演題口演 第 3 分科会 5		一般演題口演 第 3 分科会 6						
	第14会場 9階 901			一般演題口演 第 4 分科会 2		一般演題口演 第 5 分科会 1		一般演題口演 第 5 分科会 2						
	第15会場 大ホール2階 控室2・3			一般演題口演 第 6 分科会 1		一般演題口演 第 6 分科会 2		一般演題口演 第 6 分科会 3						
	第16会場 1階 大ホールホワイエ												ラウンドテーブル 1	
	第17会場 6階 展示ギャラリー 1～3			ポスター貼付						ポスター閲覧				
	第18会場A 1階 大ホール			ポスター貼付						ポスター閲覧				
	第18会場B 1階 大ホール											体験観覧 企画 3	体験観覧 企画 4	

体験観覧企画 2



関係者のみ参加可能



事前登録必要



オンデマンド配信

14:00		14:30		15:00		15:30		16:00		16:30		17:00		17:30		18:00		18:30		19:00		19:30		20:00		20:30		21:00			
				メインシンポジウム 1  フェーズフリーの地域づくりと 健康危機管理 座長：尾島俊之、奥田博子				講演 3 健康長寿のヒント は宇宙にある 演者：金井宣茂														市民公開講座 映画上映 終わりの見えない闘い									
								シンポジウム 4  介護予防における戦略的な PDCA の展開 座長：村山洋史、甲斐裕子														自由集会 3 在宅難病療養者の災害対策									
				シンポジウム 7  厚労省ガイドを踏まえた 身体活動分野の推進 座長：小熊祐子、小野玲				05		シンポジウム 8  産衛学会共催 災害に応じる地域職域の協働 座長：岩本萌、立石清一郎				35												自由集会 4 JACSIS/JASTIS 研究会					
				シンポジウム 11  母子保健 DX 時代の母子保健 活動のあり方 座長：山縣然太郎、竹原健二						シンポジウム 12  感染症危機に対応する人材育成 の現在地と目的地 座長：和田耕治、岩橋慶美																自由集会 5 在留外国人の保険医療アクセス					
		シンポジウム 15  ロジックモデル活用による 医療福祉計画評価 座長：今村知明、埴岡健一								シンポジウム 16  若手研究者と考える日本の 公衆衛生学の未来 座長：杉山雄大、齋藤良行																					
		シンポジウム 20  公衆衛生学会の将来を展望する ー将来構想検討委員会企画ー 座長：玉腰暁子、石原美千代								シンポジウム 21  保健所建物の新築・ 整備事例の共有 座長：宮園将哉、原田昌範														自由集会 6 MPH・DrPH のつどい							
										シンポジウム 25  映画「終わりの見えない闘い」 が残したもの 座長：城所敏英、工藤恵子														自由集会 7 結核集団発生の対策に関する 自由集会							
		グループワーク 5  自治体 × プラネタリーヘルス × 公衆衛生 座長：鹿嶋小緒里、鈴木秀								グループワーク 6  専門職のイメージキャラ化 ワークショップ 座長：柴崎智美、田口孝行														自由集会 8 男性保健師の会							
		グループワーク 9 若者のアルコール・薬物問題 からの回復を支える 座長：白井千香、大村美保								グループワーク 10 D24H 実践グループワーク 座長：市川学														自由集会 9 地域における感染症危機時の リーダーシップ							
		自由集会 2 全国衛生行政研究会セミナー： ハイブリッド														自由集会 10 SAYONARA 「公衆衛生に国境はない」															
		一般演題口演 第 1 分科会 5								一般演題口演 第 1 分科会 6														自由集会 11 公衆衛生医師の集い							
		一般演題口演 第 3 分科会 2								一般演題口演 第 3 分科会 3														自由集会 12 公衆衛生における実装科学の挑戦							
一般演題口演 第 3 分科会 7		一般演題口演 第 3 分科会 8								一般演題口演 第 4 分科会 1														自由集会 13 災害時における栄養食生活支援活動を考える							
一般演題口演 第 5 分科会 3		一般演題口演 第 5 分科会 4								一般演題口演 第 5 分科会 5														自由集会 14 へき地保健師のつどい							
一般演題口演 第 6 分科会 4		一般演題口演 第 6 分科会 5								一般演題口演 第 6 分科会 6																					
		ラウンドテーブル 2								ラウンドテーブル 3								体験観覧 企画 1				自由集会 15 公衆衛生って、うまいら〜。									
ポスター閲覧										座長進行による発表 自由質疑										ポスター撤去											
ポスター閲覧										座長進行による発表 自由質疑										ポスター撤去											
体験観覧 企画 5						体験観覧 企画 6				体験観覧 企画 7		45 55		体験観覧 企画 8		25		意見交換会													

ハレルヤコーラス

第2日目：2025年10月30日(木)

		8:00		8:30		9:00		9:30		10:00		10:30		11:00		11:30		12:00		12:30		13:00		13:30		14:00																																																									
静岡県 コンベンション アーツセンター グランシップ	第1会場 1階 中ホール			シンポジウム 26 3 学会合同・保健師の本来 業務・相互理解 座長：五十嵐千代、岡本玲子								学会長講演 フェーズフリーの地域 づくりと健康危機管理 演者：尾島俊之				シンポジウム 27 保健医療福祉調整本部における DHEAT と DMAT コーディネーションチームとの協働 座長：中里栄介、近藤久禎				ランチョンセミナー4 共催：国立研究開発 法人 医薬基盤・ 健康・栄養研究所																																																															
	第2会場 6階 交流ホール			シンポジウム 30 若手に伝えたい公衆衛生の実践 座長：宇田英典、若林チヒロ				シンポジウム 31 孤独に寄り添う社会的処方や テクノロジー 座長：高田礼子、藤田卓仙								ランチョンセミナー5 共催：社会福祉法人 聖隷福祉事業団 保健事業部				メインシンポジウム2 健康寿命日本一への 挑戦 座長：橋本修二、島村通子																																																															
	第3会場 11階 会議ホール			講演 4 混合研究法 演者：亀井智子、 河村洋子				シンポジウム 34 へき地医療の新たな展望 座長：葛蒲川由郷、宮田潤								ランチョンセミナー6 共催：アイブリッジ 株式会社				シンポジウム 35 いま高齢者介護の現場で 何が起きているか 座長：新開省二、岸恵美子																																																															
	第4会場 10階 1001-2			シンポジウム 38 フィンランドの母子保健 システム導入の効果 座長：江崎治朗、横山美江				シンポジウム 39 受動喫煙防止対策のいっそうの 推進に向けて 座長：田淵貴大、片岡葵								ランチョンセミナー7 総会主催 (静岡市・浜松市)																																																																			
	第5会場 10階 1001-1			指導医講習会				シンポジウム 42 こども達の育ちの礎 「母子保健事業」 座長：越田理恵、小倉加恵子								拡大公衆衛生 モニタリングレポート 委員会				シンポジウム 43 食事調査法の未来 座長：佐々木敏																																																															
	第6会場 9階 908			シンポジウム 45 今後の NCDs 対策を考える 座長：郡山千早、八谷寛								シンポジウム 46 エビデンスを創出し、 政策を導く 座長：武林亨				GBD 統括の Naghavi 先生と話そう		シンポジウム 47 健康危機管理の研究： 備え・対応・生活支援 座長：今中雄一、茅野龍馬																																																																	
	第7会場 2階 映像ホール			シンポジウム 49 健康危機管理人材の卒前教育で の相互理解 座長：中瀬克己、神原咲子								シンポジウム 50 賛否のある公衆衛生対策に 関するディベート 座長：尾崎米厚、郡山千早								国際参加賞受賞講演																																																															
	第8会場 9階 910							グループワーク 11 地域医療構想・健康づくりとデータ活用 座長：猪飼宏、小林大介												グループワーク 12△ 若手行政職員のための ケーススタディ 座長：宮園将哉、宗陽子																																																															
	第9会場 9階 904			グループワーク 14 小規模自治体で住民の健康を どうまもるか 座長：塩見美抄、吉岡京子																																																																															
	第10会場 9階 902											自由集会 16 地域にエビデンスを 広めるための実装研究								自由集会 17 輸入感染症、人獣共通感染症 (動物由来感染症) について																																																															
	第11会場 10階 1002			一般演題口演 第 7 分科会 1				一般演題口演 第 7 分科会 2				一般演題口演 第 7 分科会 3								一般演題口演 第 8 分科会 1																																																															
	第12会場 10階 1003			一般演題口演 第 8 分科会 4				一般演題口演 第 8 分科会 5				一般演題口演 第 8 分科会 6								一般演題口演 第 9 分科会 1																																																															
	第13会場 11階 1101			一般演題口演 第 10 分科会 2				一般演題口演 第 11 分科会 1				一般演題口演 第 11 分科会 2																																																																							
	第14会場 9階 901			一般演題口演 第 12 分科会 4				一般演題口演 第 12 分科会 5				一般演題口演 第 12 分科会 6																																																																							
	第15会場 大ホール2階 控室2・3			一般演題口演 第 13 分科会 3				一般演題口演 第 13 科会 4				一般演題口演 第 13 分科会 5																																																																							
	第16会場 1階 大ホールホワイエ			ラウンドテーブル 4				ラウンドテーブル 5				体験観覧企画 9				ラウンドテーブル 6																																																																			
	自由集会 地下1階 練習室2																																																																																		
	第17会場 6階 展示ギャラリー 1～3			ポスター貼付																ポスター閲覧																																																															
第18会場A 1階 大ホール			ポスター貼付																ポスター閲覧																																																																
第18会場B 1階 大ホール			体験観覧企画 11		55	05	体験観覧 企画 13								体験観覧 企画 14		55	15	25	体験観覧 企画 17		55																																																													
体験観覧企画 12																												体験観覧企画 15																												体験観覧企画 16																											

体験観覧企画 12

体験観覧企画 15 体験観覧企画 16



関係者のみ参加可能



事前登録必要



オンデマンド配信

14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00
		シンポジウム 28 公衆衛生学における AI や 機械学習の活用 座長：内田満夫、桑原恵介			シンポジウム 29 在宅高齢者の「食べる力」を地域で 支える(日本医学会連合 TEAM 事業) 座長：三浦宏子、熊井良彦			総会						
		シンポジウム 32 次のパンデミックにどう 立ち向かうか 座長：金成由美子、中島一敏			シンポジウム 33 HPV ワクチンと接種後症状 —安全性の論点 座長：中村好一、柿崎真沙子			自由集会 18 健康運動指導：介護予防 リーダー養成と運動指導						
		シンポジウム 36 経済格差から社会的孤立の 連鎖予防 座長：村山陽、長谷部雅美			シンポジウム 37 日本における社会的処方の 最前線 座長：野村恭子			自由集会 19 自殺対策・メンタルヘルス 情報交換会						
		シンポジウム 40 大規模避難における 公衆衛生対策 座長：畠尾淳、古屋好美			シンポジウム 41 健康危機管理の人材育成と キャリアパス 座長：今中雄一、近藤久禎			自由集会 20 木育で体験する身近なプラネタリーヘルス						
		シンポジウム 44 食環境整備に向けた産学官等連 携の取組 座長：武見ゆかり、岡田知佳			公衆衛生専門管理栄養士 専門研修 1 座長：由田克士			自由集会 21 健やか親子 21 父親の健康支援						
		奨励賞受賞講演			シンポジウム 48 性別役割分業規範の健康影響 座長：本庄かおり、大西真由美			自由集会 22 公衆衛生専門管理栄養士 認定制度を考える						
45		シンポジウム 51 第 4 期からのアウトカム評価 達成に効果的な特定保健指導 座長：月野木ルミ、岡村智教						自由集会 23 感染症情報の現状と展望を 考える						
		グループワーク 13 ロジックモデルを活用した地域診断と施策評価 座長：芳我ちより、埴岡健一						自由集会 24 薬剤師のあり方委員会企画— 疾病予防と地域連携を考える						
グループワーク 15 すころく × 地域 × 健康づくり WS 座長：古川馨子		グループワーク 16 推奨作成と正味の益 座長：小島原典子						自由集会 25 食育における歯科口腔保健						
								自由集会 26 社会医学若手フォーラム						
		一般演題口演 第 8 分科会 2		一般演題口演 第 8 分科会 3					自由集会 27 通いの場から考える高齢者に やさしいまちづくり					
		一般演題口演 第 9 分科会 2		一般演題口演 第 10 分科会 1					自由集会 28 環境水中のウイルス調査で得られた 知見と今後の展望					
一般演題口演 第 12 分科会 1		一般演題口演 第 12 分科会 2		一般演題口演 第 12 分科会 3					自由集会 29 住民と「ふくしあ」が協働した地域づくり					
一般演題口演 第 12 分科会 7		一般演題口演 第 13 分科会 1		一般演題口演 第 13 分科会 2		自由集会 30 世代間交流によるコミュニティ再生を 考える会								
一般演題口演 第 13 分科会 6		一般演題口演 第 14 分科会 1		一般演題口演 第 14 分科会 2		自由集会 31 地域における健康危機管理としての AMR 対策								
	ラウンドテーブル 7	体験観覧企画 10						自由集会 32 枠を超える公衆衛生へ (全国いきいき公衆衛生の会)						
								自由集会 33 公衆衛生医師インターンシップ						
ポスター閲覧				座長進行による発表 自由質疑				ポスター撤去						
ポスター閲覧				座長進行による発表 自由質疑				ポスター撤去						
05	体験観覧企画 18		05	体験観覧企画 19		体験観覧企画 20								

第3日目：2025年10月31日(金)

		8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	
静岡県 コンベンション アーツセンター グランシップ	第1会場 1階 中ホール				シンポジウム 52 地域・職域における新たな 高血圧対策 座長：岡村智教、武見ゆかり			シンポジウム 53 複数災害に備えたフェーズ フリーの広域災害対応 座長：奥田博子、大森純子			25 ランチョンセミナー 8 共催：あすか製薬 株式会社		25		
	第2会場 6階 交流ホール			シンポジウム 56 日本入国前結核健診の 実際と今後の展望 座長：前田和成、李祥任			シンポジウム 57 飛び出せ日本―途上国の 公衆衛生と結核対策 座長：前田秀雄、長嶺路子			ランチョンセミナー 9 共催：レセ・スタッフ 株式会社					
	第3会場 11階 会議ホール				シンポジウム 60 介護保険者機能強化の推進 (科学院企画) 座長：大夢賀政昭、森山葉子			シンポジウム 61 公衆衛生と倫理・公衆衛生 の倫理 座長：井上悠輔、井上まり子			ランチョンセミナー 10 共催：総会・静岡社会 健康医学大学院大学				
	第4会場 10階 1001-2				シンポジウム 63 地域・職域連携推進の 最新情報 座長：都筑千景、藤本優子			シンポジウム 64 高齢期就労の可能性を考える 座長：村山洋史、渡辺修一郎							
	第5会場 10階 1001-1				シンポジウム 67 5歳児健診事業化の 公衆衛生的検討 座長：北野尚美、鈴木孝太			シンポジウム 68 保健行政が協働し進める プレコンセプションケア 座長：中澤智、児玉知子			講演 5 労働の現場で人々の 健康向上を支援する 演者：川上剛				
	第6会場 9階 908				シンポジウム 70 保健サービス・カバレッジ指標 の展望と課題 座長：大澤絵里、五十嵐久美子			シンポジウム 71 社会医学系専門医制度をいかに 医療制度に組み込むか？ 座長：和田裕雄			シンポジウム 72 通所型サービス C の 効果と普及促進 座長：斉藤雅茂				
	第7会場 2階 映像ホール				公衆衛生専門管理栄養士 専門研修 2 座長：諸岡歩			シンポジウム 74 食環境づくりにおける減塩の 取組の効果 座長：三浦克之、杉山雄大			シンポジウム 75 自治体の有効的な 自死対策 座長：竹島正、佐々木那津				
	第8会場 9階 910				グループワーク 17 最近の産業医活動における 対応困難事例への対応 座長：大神明										
	第9会場 9階 904				グループワーク 19 子どものスマホ・ネット依存予防実践 座長：瀬在泉、山田正明										自由集会 34 まちを「どこでもドア」 にしよう！全世代型の 地域包括ケアを考える
	第10会場 9階 902				自由集会 35 法医公衆衛生学の展望										公衆衛生大学院の プログラム校連絡会議
	第11会場 10階 1002				一般演題口演 第 14 分科会 3		一般演題口演 第 14 分科会 4		一般演題口演 第 15 分科会 1					一般演題口演 第 16 分科会 1	
	第12会場 10階 1003				一般演題口演 第 17 分科会 1		一般演題口演 第 17 分科会 2		一般演題口演 第 18 分科会 1					一般演題口演 第 19 分科会 1	
	第13会場 11階 1101				一般演題口演 第 20 分科会 2		一般演題口演 第 21 分科会 1		一般演題口演 第 22 分科会 1						
	第14会場 9階 901				一般演題口演 第 24 分科会 2		一般演題口演 第 24 分科会 3		一般演題口演 第 24 分科会 4						
	第15会場 大ホール2階 控室2・3				一般演題口演 English Session 2		一般演題口演 English Session 3		一般演題口演 English Session 4						
	第16会場 1階 大ホールホワイエ				ラウンドテーブル 8		ラウンドテーブル 9							ラウンドテーブル 10	
	第17会場 6階 展示ギャラリー 1～3				ポスター貼付							ポスター閲覧			
	第18会場A 1階 大ホール				ポスター貼付							ポスター閲覧			
	第18会場B 1階 大ホール			体験観覧企画 22		体験観覧企画 23							体験観覧企画 24		



関係者のみ参加可能



事前登録必要



オンデマンド配信

14:00		14:30		15:00		15:30		16:00		16:30		17:00		17:30		18:00		18:30		19:00		19:30		20:00		20:30		21:00	
シンポジウム 54 公的ビッグデータの現状とこれから 座長：今村知明、明神大也				シンポジウム 55 EBPM に寄与するエビデンスづくり 座長：近藤克則、ローゼンバーグ恵美				閉会式																					
シンポジウム 58 がん生存率の国際共同研究と日本のがん対策 座長：松田智大、大木いずみ				シンポジウム 59 小児の睡眠 2025 座長：谷川武、兼板佳孝																									
シンポジウム 62 日本の健康危機管理の現状と展望 座長：藤田利枝、磯博康																													
シンポジウム 65 地域包括ケアにおける薬剤師 × 多職種連携 座長：阿部真也、戸張裕子				シンポジウム 66 多角的アプローチで臨むフレイル予防 座長：藤原佳典、森田明美																									
シンポジウム 69 認知行動療法アプリの社会実装と健康経営 座長：中山健夫																													
シンポジウム 73 人獣共通感染症、輸入感染症について考える（モニタリングレポート委員会感染症等グループ報告） 座長：城所敏英、伊東則彦																													
シンポジウム 76 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 座長：辻本哲士、伊東千絵子																													
グループワーク 18 感染症リスクアセスメント研修 座長：白井千香、杉下由行																													
グループワーク 20 伊豆の温泉でヘルスケアイノベーション 座長：後藤康彰、早坂信哉																													
一般演題口演 第 16 分科会 2																													
一般演題口演 第 20 分科会 1																													
一般演題口演 第 23 分科会 1				一般演題口演 第 24 分科会 1																									
一般演題口演 第 25 分科会 1				一般演題口演 English Session 1																									
一般演題口演 English Session 5				一般演題口演 English Session 6																									
座長進行による発表 自由質疑				ポスター撤去																									
座長進行による発表 自由質疑				ポスター撤去																									
体験観覧企画 24																													

プログラム一覧 10月28日(火)・29日(水)

カテゴリー	タイトル	開始	終了	会場
10月28日(火)				
シンポジウム1	巨大災害の根本的問題へ公衆衛生の力で挑戦する ～直接死を防ぐ災害一次予防～	14:40	16:10	第3会場(会議ホール)
グループワーク1	持続可能なユニバーサルヘルスケアバレッジと健康の公平性について考えるワークショップ	13:15	16:15	第8会場(910)
グループワーク2	急性期の地域の保健医療福祉調整本部での指揮系統の確立と急性期以降の本部の移行 地域保健医療福祉調整体制の確立:急性期から亜急性期にかけて	13:15	16:15	第9会場(904)
10月29日(水)				
講演1	厚生労働行政の現状・課題について	11:10	12:00	第1会場(中ホール)
講演2	音楽とともにある公衆衛生 -人々の中へ、そして公衆衛生の力に-	13:30	14:20	第1会場(中ホール)
講演3	健康長寿のヒントは宇宙にある ～長期宇宙滞在ミッションを通して見えるもの～	16:10	17:00	第1会場(中ホール)
メインシンポジウム1	フェーズフリーの地域づくりと健康危機管理	14:30	16:00	第1会場(中ホール)
市民公開講座	映画上演 終わりの見えない闘い ～新型コロナウイルス感染症と保健所	18:50	20:40	第1会場(中ホール・大地)
開会式		10:30	11:00	第1会場(中ホール・大地)
ハレルヤコーラス	ヘンデル「メサイヤ」から第4番And glory of the load、第44番Hallelujah!	17:50	18:00	第18会場(大ホール・海)
意見交換会		18:00	18:40	第18会場(大ホール・海)
シンポジウム2	新時代の感染症危機管理体制の構築と課題	8:45	10:15	第1会場(中ホール)
シンポジウム3	公衆衛生に国境はない(Public Health without Border)	8:50	10:20	第2会場(交流ホール)
シンポジウム4	介護予防事業における戦略的ロジックモデルの展開:行政レベルと現場レベルのPDCA	15:30	17:00	第2会場(交流ホール)
シンポジウム5	地域リハビリテーションのあり方を考える	9:10	10:40	第3会場(会議ホール)
シンポジウム6	自治体で検討すべき超高齢社会での高齢者肺炎のマネジメントの重要性	11:15	12:45	第3会場(会議ホール)
シンポジウム7	健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023を踏まえた身体活動・運動分野の推進	14:20	15:50	第3会場(会議ホール)
シンポジウム8	産衛・公衛2学会合同企画 災害対応における地域と職域のフェーズフリーな協働推進	16:05	17:35	第3会場(会議ホール)
シンポジウム9	多死社会に伴う公衆衛生上の課題と展望	9:30	11:00	第4会場(1001-2)
シンポジウム10	災害関連死のない社会を目指す`地方ブロック内のDHEAT連携訓練を通して`	12:40	14:10	第4会場(1001-2)
シンポジウム11	電子版母子健康手帳・母子保健DX時代の母子保健活動のあり方	14:20	15:50	第4会場(1001-2)
シンポジウム12	感染症危機に対応する人材育成の現在地と目的地	16:05	17:35	第4会場(1001-2)
シンポジウム13	スポーツ振興・参加の促進要因の探索と支援政策の評価研究:多機関連携による重層的アプローチ	8:50	10:20	第5会場(1001-1)
シンポジウム14	地域包括ケアと災害保健医療福祉対策の連動:静岡県から考える“多文化共生”	11:10	12:40	第5会場(1001-1)
シンポジウム15	ロジックモデルと指標を活用した医療福祉計画評価`取組例から見る定着への道筋`	14:10	15:40	第5会場(1001-1)
シンポジウム16	若手PI・研究者と考える日本の公衆衛生学研究・キャリアの未来~次世代に求められるコンピテンシーとは~	15:50	17:20	第5会場(1001-1)
シンポジウム17	健康危機対策から外国人を取り残さない:多分野連携で築くリスクコミュニケーション	8:40	10:10	第6会場(908)
シンポジウム18	小規模自治体における持続可能な高齢者にやさしいまちづくりのエビデンスと実践	11:20	12:50	第6会場(908)

プログラム一覧 10月29日(水)・30日(木)

カテゴリー	タイトル	開始	終了	会場
10月29日(水)				
シンポジウム19	データに基づく歯科口腔保健政策をすすめるために:研究と行政的視点から	13:00	14:30	第6会場(908)
シンポジウム20	公衆衛生学会の将来を展望する-将来構想検討委員会企画-	14:40	16:10	第6会場(908)
シンポジウム21	保健所建物の新築・整備=災害時と日常時をシムレスにつなぐグッドプラクティス=	16:20	17:50	第6会場(908)
シンポジウム22	公衆衛生専門管理栄養士認定制度の創設	9:00	10:30	第7会場(映像ホール)
シンポジウム23	静岡発!食と生活習慣チェック:健康寿命延伸のためのモニタリング調査の構築と活用	11:10	12:40	第7会場(映像ホール)
シンポジウム24	環境による健康リスク:公的データの活用で見えてくるもの	13:20	14:50	第7会場(映像ホール)
シンポジウム25	COVID-19と保健所の記録映画「終わりの見えない闘い」が残したもの	16:20	17:50	第7会場(映像ホール)
グループワーク3	中小規模医療機関等のサイバ-セキュリティの脆弱さと脅威に対する外部支援	8:50	10:20	第8会場(910)
グループワーク4	実用的な抽出調査を自ら企画してみよう ~途上国での方法を日本に活用するには~	13:10	14:40	第8会場(910)
グループワーク5	プラネタリ-ヘルスで考える自治体公衆衛生対策	14:50	16:20	第8会場(910)
グループワーク6	専門職キャラ化ワークショップ~各職種の特徴と大切さ、そして面白さを再発見する手法	16:30	18:00	第8会場(910)
グループワーク7	あなたの町の「治し、支える医療」やってみよう!地域診断グループワーク	9:00	11:00	第9会場(904)
グループワーク8	「ケアとともに生きる家族」支援実践の課題~実践知と研究の協働による家族支援の展望を描く	13:00	14:30	第9会場(904)
グループワーク9	若者のアルコール・薬物問題からの回復を支えるグループワーク	14:40	16:10	第9会場(904)
グループワーク10	D24Hを用いた避難所アセスメントと情報分析	16:20	17:50	第9会場(904)
優秀演題賞選考会		13:00	15:00	第2会場(交流ホール)
10月30日(木)				
学会長講演	フェ-ズフリ-の地域づくりと健康危機管理	10:20	11:10	第1会場(中ホール)
講演4	質と量の統合によって「サプライズ」な洞察を:混合研究法 ~混合研究法を公衆衛生分野でもっと活かそう!~	9:00	9:50	第3会場(会議ホール)
メインシンポジウム2	健康寿命日本一への挑戦	13:10	14:40	第2会場(交流ホール)
総会		18:00	18:30	第1会場(中ホール・大地)
シンポジウム26	3学会合同企画★保健師の本来業務を再確認! ~所属や職種を越えた相互理解へ~	8:30	10:00	第1会場(中ホール)
シンポジウム27	保健医療福祉調整本部におけるDHEATとDMATコ-ディネ-ションチームとの協働	11:20	12:50	第1会場(中ホール)
シンポジウム28	公衆衛生学分野におけるデータサイエンス技術の活用 ~特にAIや機械学習について~	14:30	16:00	第1会場(中ホール)
シンポジウム29	在宅高齢者の「食べる力」を地域で支える:多職種連携の展望	16:10	17:40	第1会場(中ホール)
シンポジウム30	若手に伝えたい公衆衛生の実践	8:30	10:00	第2会場(交流ホール)
シンポジウム31	孤独に寄り添う社会的処方やテクノロジーの可能性	10:10	11:40	第2会場(交流ホール)
シンポジウム32	感染症対策委員会企画 来るべき次のパンデミックにどう立ち向かうか	14:50	16:20	第2会場(交流ホール)
シンポジウム33	HPVワクチンと接種後症状-安全性についての報道,疫学,裁判の視点からの論点	16:30	18:00	第2会場(交流ホール)
シンポジウム34	へき地医療の新たな展望 ~へき地の現状と人口動態に基づく医療ニーズ分析から~	10:00	11:30	第3会場(会議ホール)

プログラム一覧 10月30日(木)・31日(金)

カテゴリー	タイトル	開始	終了	会場
10月30日(木)				
シンポジウム35	いま高齢者介護の現場で何が起きているか～持続可能な介護保険システムに向けて～	13:00	14:30	第3会場(会議ホ-ル)
シンポジウム36	中高年者における経済格差から社会的孤立の連鎖予防に向けて	14:40	16:10	第3会場(会議ホ-ル)
シンポジウム37	日本における社会的処方-最前線-厚労省モデル事業と地域の挑戦	16:20	17:50	第3会場(会議ホ-ル)
シンポジウム38	フィンランドの母子保健システム導入による社会実装の効果:児童虐待と孤独予防の方策	9:00	10:30	第4会場(1001-2)
シンポジウム39	受動喫煙防止対策のいっそうの推進に向けて	10:40	12:10	第4会場(1001-2)
シンポジウム40	大規模避難における公衆衛生対策:想定するべきリスクと備え・対策	14:40	16:10	第4会場(1001-2)
シンポジウム41	健康危機管理の人材育成:キャパシティビルディングとキャリアパス	16:20	17:50	第4会場(1001-2)
シンポジウム42	今こそ大切にしたい、日本の将来を担うこども達の育ちの礎「母子保健事業」	9:40	11:10	第5会場(1001-1)
シンポジウム43	食事調査法の未来～国民健康・栄養調査の食事調査法はどのようにあるべきか	13:10	14:40	第5会場(1001-1)
シンポジウム44	食環境整備に向けた産学官等連携の取組:現状と未来	14:50	16:20	第5会場(1001-1)
シンポジウム45	今後のNCDs対策を考える	8:50	10:20	第6会場(908)
シンポジウム46	世界の疾病負荷研究(Global Burden of Disease)入門:エビデンスで導く公衆衛生政策と実践	10:40	12:10	第6会場(908)
シンポジウム47	健康危機管理の研究展開:備え・緊急対応・避難生活支援	13:00	14:30	第6会場(908)
シンポジウム48	性別役割分業規範が健康にどのような影響を与えているのか-ジェンダ-の健康影響	16:10	17:40	第6会場(908)
シンポジウム49	健康危機管理人材の卒前教育における保健師・看護師・医師・福祉職の相互理解	8:40	10:10	第7会場(映像ホ-ル)
シンポジウム50	モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」	10:40	12:10	第7会場(映像ホ-ル)
シンポジウム51	第4期から導入されたアウトカム評価の達成に効果的な特定保健指導法のエビデンス	15:00	16:30	第7会場(映像ホ-ル)
グループワーク11	地域医療構想と健康づくりに向けてデータを語り合おう	9:30	11:30	第8会場(910)
グループワーク12	若手行政職員のためのケーススタディ	13:00	14:30	第8会場(910)
グループワーク13	ロジックモデルを活用した地域診断と施策評価～データとフォームを使った模擬体験～	14:50	17:50	第8会場(910)
グループワーク14	専門人材不足が進む小規模自治体で住民の健康とwell-beingをどうまもるか	9:00	10:30	第9会場(904)
グループワーク15	住民と創る健康教育教材 - すぐろくを活用した地域発ワークショップ	13:20	14:50	第9会場(904)
グループワーク16	診療ガイドラインの推奨作成における正味の益、患者の多面的価値観の評価法	15:10	16:40	第9会場(904)
公衆衛生専門管理栄養士専門研修1	生活困窮と健康・栄養格差:支援現場で求められる知識と実践	16:00	17:30	第5会場(1001-1)
奨励賞受賞講演		14:40	15:50	第6会場(908)
国際参加賞受賞講演 International Participant Award Awardee Lecture		12:50	14:45	第7会場(映像ホ-ル)
10月31日(金)				
講演5	ILOアジア産業保健技術協力25年の経験-労働の現場で人々の健康向上を支援する-	13:10	14:00	第5会場(1001-1)
閉会式		17:00	17:30	第1会場(中ホ-ル・大地)
シンポジウム52	地域・職域における新たな高血圧対策:日本高血圧学会からの提案	8:50	10:20	第1会場(中ホ-ル)

プログラム一覧 10月31日(金)

カテゴリー	タイトル	開始	終了	会場
10月31日(金)				
シンポジウム53	複数災害に備えたフェズフリ-の広域災害対応	10:30	12:00	第1会場(中ホール)
シンポジウム54	公的ビッグデータの現状とこれから	13:40	15:10	第1会場(中ホール)
シンポジウム55	EBPMに寄与するエビデンスづくり-日本老年学的評価研究(JAGES)25年の歩みと教訓	15:20	16:50	第1会場(中ホール)
シンポジウム56	日本入国前結核健診の実際と今後の展望 ～ベトナムでの健診医療機関の視察を踏まえて～	8:30	10:00	第2会場(交流ホール)
シンポジウム57	JSPH、JSTB学会共同企画シンポジウム:飛び出せ日本-途上国の公衆衛生と結核対策	10:10	11:40	第2会場(交流ホール)
シンポジウム58	がん生存率の国際共同研究から考える日本の現状とこれからのがん対策、がん医療	13:20	14:50	第2会場(交流ホール)
シンポジウム59	小児の睡眠2025(睡眠・休養に関する委員会企画)	15:00	16:30	第2会場(交流ホール)
シンポジウム60	エビデンスに基づく介護保険における保険者機能強化の推進(国立保健医療科学院企画)	9:20	10:50	第3会場(会議ホール)
シンポジウム61	公衆衛生と倫理・公衆衛生の倫理:はじめの一歩とこれからの歩みのために	11:00	12:30	第3会場(会議ホール)
シンポジウム62	日本の健康危機管理の現状と展望～国立健康危機管理研究機構(JIHS)の創立にあたって～	14:10	15:40	第3会場(会議ホール)
シンポジウム63	健康日本21(第三次)と地域・職域連携推進 ～最新情報と今後の方向性～	9:00	10:30	第4会場(1001-2)
シンポジウム64	高齢期就労の可能性を考える	10:40	12:10	第4会場(1001-2)
シンポジウム65	地域包括ケアシステム構築のための多職種連携～薬剤師×地域をつなぐ協働の実践～	13:40	15:10	第4会場(1001-2)
シンポジウム66	多角的アプローチで臨むフレイル予防	15:20	16:50	第4会場(1001-2)
シンポジウム67	5歳児健診事業化の公衆衛生学的検討:モニタリング・レポート委員会分野横断企画	9:10	10:40	第5会場(1001-1)
シンポジウム68	保健行政が地域と協働し進めるプレコンセプションケア ～母子・思春期保健、感染症対策等を活用した事例～	10:50	12:20	第5会場(1001-1)
シンポジウム69	エビデンスに基づくメンタルヘルスと健康経営の推進:認知行動療法アプリの社会実装	14:10	15:40	第5会場(1001-1)
シンポジウム70	グローバルレベルにおける保健医療サービス・カバレッジ指標の今後の展望と課題	8:50	10:20	第6会場(908)
シンポジウム71	社会医学系専門医制度をいかに医療制度に組み込むか?	10:30	12:00	第6会場(908)
シンポジウム72	短期集中予防サービス(通所型サービスC)の効果と普及促進にむけての提言	13:00	14:30	第6会場(908)
シンポジウム73	人獣共通感染症、輸入感染症について考える(モニタリング・レポート委員会感染症等グループ報告)	14:40	16:10	第6会場(908)
シンポジウム74	食環境づくりの推進を通じた減塩の取組がもたらす公衆衛生学的・医療経済学的効果	10:50	12:20	第7会場(映像ホール)
シンポジウム75	全国自治体の有効的な自死対策の取り組み事例	13:10	14:40	第7会場(映像ホール)
シンポジウム76	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの展望～ひきこもり・自殺・依存症対策から	14:50	16:20	第7会場(映像ホール)
グループワーク17	最近の産業医活動における対応困難事例への対応(日医認定産業医の実地単位)	10:00	12:00	第8会場(910)
グループワーク18	感染症リスクアセスメント研修	13:00	17:00	第8会場(910)
グループワーク19	子どもの健康と未来を守る! スマホ・ネット依存予防の実践を広げよう	9:30	11:30	第9会場(904)
グループワーク20	静岡県が推進する「伊豆温泉ヘルスケアイノベーションプロジェクト(ICOI)」	14:45	16:15	第9会場(904)
公衆衛生専門管理栄養士専門研修2	健康的で持続可能な食環境づくり	9:00	10:30	第7会場(映像ホール)

プログラム一覧 オンデマンド

カテゴリー	タイトル
オンデマンド	
オンデマンド口演1	死因究明の情報を公衆衛生に活かす
オンデマンドシンポジウム1	当事者と共につくる共創ウェルビーイング:支え合うコミュニティ・エンパワメント
オンデマンドシンポジウム2	疫学研究から考える災害後の自殺対策のグッド・プラクティスとは？
オンデマンドシンポジウム3	日本のHPV ワクチン接種状況と男性接種の効果についての多角的検証
オンデマンドシンポジウム4	アウトドア・ヘルスサイエンス ―屋外時間と健康のバランスを考える―
オンデマンドシンポジウム5	全国の行政保健師がGISを活用できる未来～行政保健師がQGISに出会った～
オンデマンドシンポジウム6	交通と健康:エビデンスに基づく政策
オンデマンドシンポジウム7	災害時に備える身体活動・運動を中心とした健康づくり、地域づくり
オンデマンドシンポジウム8	地域のソーシャルキャピタル醸成推進のまちづくり
オンデマンドシンポジウム9	自然と歩いて暮らせる健康まちづくりにおける公共交通政策の重要性
オンデマンドシンポジウム10	女性における健康課題の解決策を考える―なぜ運動・スポーツが女性・健康無関心層対策の一つになるのか―
オンデマンドシンポジウム11	地域共生社会・地域包括ケアの取組報告と課題について(MR 委員会障がい・難病G)
オンデマンドシンポジウム12	肺がん検診の再評価
オンデマンドシンポジウム13	新生児訪問指導と乳児家庭全戸訪問事業の質の保証と標準化に向けた課題と展望
オンデマンドシンポジウム14	医学部学生へのがん予防・検診に関する教育プログラムの実施
オンデマンドシンポジウム15	思春期を支える:ライフコースを通じた健康促進
オンデマンドシンポジウム16	島で生きる、島で支える―公衆衛生の実践知から編み出す離島の健康と医療の未来
オンデマンドシンポジウム17	多様化する通いの場:地域を元気にする戦略的展開とその支援
オンデマンドシンポジウム18	理学療法士・作業療法士による働く世代の健康課題への取り組み
オンデマンドシンポジウム19	がん登録情報を利用した感度・特異度の算出から分かったがん検診の課題とその克服
オンデマンドシンポジウム20	自治体のデータヘルス計画におけるポリファーマシー対策の実践方法
オンデマンドシンポジウム21	取り下げ
オンデマンドシンポジウム22	高齢者介護を支える人を、支える ―介護施設の課題と可能性をひもとく―
オンデマンドシンポジウム23	地域と共に歩む15 年:はまかだ運動から見るフェーズフリー支援
オンデマンドシンポジウム24	子どもたちの人生を豊かに育むための地域連携 ～こころ・からだ・性の教育～
オンデマンドシンポジウム25	電波のモニタリングプロジェクトと効果的なコミュニケーション

ランチョンセミナー

主催	セミナーテーマ	開始 時間	終了 時間	会場	階数・ 部屋名
10月29日（水）					
ランチョンセミナー 1 共催：Boston Medical Sciences 株式会社	誰一人、大腸がんで亡くならない世界へ	12:20	13:20	第1会場	1F 中ホール
ランチョンセミナー 2 共催：日本生命保険相互会社	健診・レセプトデータを活用した健保組合向け医療費ベンチマークの開発および健康増進に向けた日本生命の取り組み	11:45	12:45	第2会場	6F 交流ホール
ランチョンセミナー 3 総会主催（静岡県）	静岡県の取り組みについて	13:00	14:00	第3会場	11F 会議ホール・風
10月30日（木）					
ランチョンセミナー 4 共催：国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所	若年層から高齢者までの健幸支援 ～内閣府SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」で創出する社会技術	13:10	14:10	第1会場	1F 中ホール
ランチョンセミナー 5 共催：社会福祉法人 聖隷福祉事業団 保健事業部	浜松市民の健康診断等ビッグデータ解析・評価	12:00	13:00	第2会場	6F 交流ホール
ランチョンセミナー 6 共催：アイブリッジ株式会社	なぜワクチンを打たないのか。～歴史と心理から読み解く「接種控え」～	11:50	12:50	第3会場	11F 会議ホール・風
ランチョンセミナー 7 総会主催（静岡市・浜松市）	静岡市、浜松市の取り組みについて	13:00	14:00	第4会場	10F 1001-2
10月31日（金）					
ランチョンセミナー 8 共催：あすか製薬株式会社	避妊法の選択と避妊指導の実際	12:25	13:25	第1会場	1F 中ホール
ランチョンセミナー 9 共催：レセ・スタッフ株式会社	レセプト点検の現状と課題	12:00	13:00	第2会場	6F 交流ホール
ランチョンセミナー 10 共催：静岡社会健康医学大学院大学	はじめまして静岡SPH! ～地域を支え、世界をもっと健康にする 静岡SPHの歩みと未来～	13:00	14:00	第3会場	11F 会議ホール・風

体験観覧企画の日程

○お申し込み・お問合せはホームページ・各申込責任者へご連絡ください。

10月29日（水）	
第16-1会場（大ホールホワイエ） 16:30～17:20	
【体験観覧企画1】 地域で取組む高齢者の重複・多剤併用の改善対策	
申込責任者：福田 吉治 E-mail: fukuday@med.teikyo-u.ac.jp	
第18会場B（大ホール） 12:10～12:20	
【体験観覧企画2】 ピアノ演奏	
申込責任者：西田 敏秀 E-mail: nishida-toshihide@pref.miyazaki.lg.jp	
第18会場B（大ホール） 12:30～12:50	
【体験観覧企画3】 ピアノ演奏	
申込責任者：仲本 光一 E-mail: drnakamoto@gmail.com	
第18会場B（大ホール） 13:00～13:30	
【体験観覧企画4】 ピアノミニコンサート	
申込責任者：森川 梢 E-mail: kozuemorikawa1211@gmail.com	
第18会場B（大ホール） 14:00～14:30	
【体験観覧企画5】 DX 伴走支援 ママの体と心を専門家チームと整える場 内閣府 SIP マムアップパークとは！？	
申込責任者：土屋 厚子 E-mail: atsuko.t.33930@gmail.com	
第18会場B（大ホール） 15:00～15:40	
【体験観覧企画6】 ピアノと声楽：音楽とともにある公衆衛生（講演セッションに続いての演奏会）	
申込責任者：曽根 智史 E-mail: sone.t.aa@niph.go.jp	
第18会場B（大ホール） 16:00～16:45	
【体験観覧企画7】 健康カードで遊んで、健康リテラシーを向上させよう	
申込責任者：土屋 厚子 E-mail: atsuko.t.33930@gmail.com	
第18会場B（大ホール） 16:55～17:25	
【体験観覧企画8】 DX 伴走支援 ママの体と心を専門家チームと整える場 内閣府 SIP マムアップパークとは！？	
申込責任者：土屋 厚子 E-mail: atsuko.t.33930@gmail.com	

10月30日（木）	
第16-1会場（大ホールホワイエ） 11:50～12:50	
【体験観覧企画9】 エンジョイ・卓球バレー：脳も身体もリフレッシュ！	
申込責任者：安藤 裕一 E-mail: andopah@me.com	
第16-1会場（大ホールホワイエ） 15:10～16:10	
【体験観覧企画10】 ボードゲームで遊んで学ぶ鳥インフルエンザ・カモと鳥インフルエンザウイルスの関係	
申込責任者：小池 剛 E-mail: ugi98111@nifty.com	
第18会場B（大ホール） 9:00～9:50	
【体験観覧企画11】 歌う喜びは国境を越えてー高齢者の合唱の効果を分析するシカゴ大学のチームと合同企画 シカゴ川の沿岸で、シカゴ市民とハレルヤを歌いましょう！	
申込責任者：田宮 菜奈子 E-mail: ntamiya@md.tsukuba.ac.jp	
第18会場B（大ホール） 9:55～10:05	
【体験観覧企画12】 見てご 聞いてご やってご！ラジオ体操第一～遠州もりことば～	
申込責任者：三浦 千晴 E-mail: fukushi@town.shizuoka-mori.lg.jp	
第18会場B（大ホール） 10:10～10:40	
【体験観覧企画13】 DX 伴走支援 ママの体と心を専門家チームと整える場 内閣府 SIP マムアップパークとは！？	
申込責任者：土屋 厚子 E-mail: atsuko.t.33930@gmail.com	
第18会場B（大ホール） 12:00～12:30	
【体験観覧企画14】 音楽でつながろう！みんなで楽しむピアノミニコンサート	
申込責任者：今村 晴彦 E-mail: imamura.haruhiko@u-nagano.ac.jp	
第18会場B（大ホール） 12:40～12:55	
【体験観覧企画15】 ピアノ演奏	
申込責任者：田中 有希 E-mail: tanaka.yuki@nihon-u.ac.jp	
第18会場B（大ホール） 13:00～13:15	
【体験観覧企画16】 ピアノ連弾：ショパンの華麗なる大円舞曲	
申込責任者：鎌田 久美子 E-mail: k.kamata@jpha.or.jp	

第 18 会場 B (大ホール) 13:25 ~ 13:55 【体験観覧企画 17】 歌でつながった公衆衛生仲間による学際コラボー歌の花束 申込責任者：田宮 菜奈子 E-mail: ntamiya@md.tsukuba.ac.jp
第 18 会場 B (大ホール) 14:05 ~ 16:05 【体験観覧企画 18】 一期一会の精神で心に残るメロディーを ~ミュージックベルで奏でるひととき~ 申込責任者：柳 奈津代 E-mail: ntyanagi@gmail.com
第 18 会場 B (大ホール) 16:30 ~ 17:20 【体験観覧企画 19】 健康日本 21 に明記された「住宅と室温」に関するエビデンスと 全ての国民に確保するための政策 申込責任者：上原 裕之 E-mail: peach@sickhouse-sa.com
第 18 会場 B (大ホール) 17:30 ~ 18:30 【体験観覧企画 20】 80's Japan pops 申込責任者：伊東 則彦 E-mail: itou.norihiko@pref.hokkaido.lg.jp
駿府城公園 8:30 ~ 10:00 【体験観覧企画 21】 駿府城公園でモーニングラン 申込責任者：田中 一成 ※詳細は下記ご確認ください。

10 月 31 日 (金)	
第 18 会場 B (大ホール) 8:30 ~ 9:30 【体験観覧企画 22】 ヨーガ療法のエッセンス：身体と心への気づきを促すために 申込責任者：河村 洋子 E-mail: y-kawamura@health.uoeh-u.ac.jp	
第 18 会場 B (大ホール) 10:00 ~ 12:00 【体験観覧企画 23】 公衆衛生に不可欠な、気がつけば地域が元気になっている「対話」のノウハウ、コツとは 申込責任者：岩室 紳也 E-mail: shin.iwamuro@nifty.ne.jp	
第 18 会場 B (大ホール) 13:00 ~ 16:00 【体験観覧企画 24】 静岡の町医者が始めた社会的処方 人と人とのつながりをつくるサクラノキテラス体験会 申込責任者：近藤 誠人 E-mail: k.masa08@hama-med.ac.jp	

駿府城公園でモーニングラン【体験観覧企画21】

- ①集合場所：駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション（静岡市葵区駿府町 2-80）
- ②開催日時：10 月 30 日（木）8 時 30 分から 9 時 30 分
- ③ランニングコース：駿府城公園の内堀を 3 周
- ④事前申込：不要
- ⑤着替え場所：駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション利用可能
（7 時から利用可能、更衣室、ロッカー、シャワー有、1 回 300 円）
- ⑥その他：参加者の方先着 100 名様に、静岡市のノベルティグッズをプレゼント
※モーニングランだけの参加や 1 周だけの参加なども歓迎

○トークセッション

- ①開催場所：駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション又は駿府城公園内
- ②開催時間：10 月 30 日（木）9 時 30 分から 10 時
- ③司会：田中一成保健所長
- ④トーク相手：消防局の望月将悟氏と健康づくり推進課の保健師
- ⑤トーク内容：望月氏と保健師で健康に関するトークセッション（仮）



ウデをまろうシズオカ！

高血圧予防対策事業として、一般の方を対象とした血圧測定イベント「ウデをまろう！シズオカ」を開催しています。自己申告値と測定値が一致した方には減塩食品などをプレゼントしています。是非、足をお運びください。

開催日時：10 月 30 日（木）10:00 ~ 16:30

会 場：静岡駅コンコース

主 催：静岡社会健康医学大学院大学

共 催：静岡県

後 援：日本高血圧学会・静岡県医師会・静岡県看護協会・第 84 回日本公衆衛生学会総会

静岡市のみどころバスツアー

開催日時：10 月 30 日（木）13:30 出発

参加定員：20 名

参加申込：総会ホームページの参加登録システムから事前申込

集合場所：グランシップ正面玄関前の車寄せに集合

行程（予定）：久能山東照宮 他 （自己負担 3,000 円程度）※参加人数によっては、団体割引有

自由集会の日程

○お申し込み・お問合せはホームページ・各世話人へご連絡ください。

10月29日（水）		
第10会場（902） 13:00～14:30	自由集会1 初めてのQGISを楽しもう会～保健医療福祉に役立つQGIS～ 世話人：堀池 諒	E-mail: ryo.horiike@naramed-u.ac.jp
第10会場（902） 14:40～16:10	自由集会2 全国衛生行政研究会を構成する全国9ブロックからの活動報告および基調講演 世話人：嶋村 清志 TEL：0749-65-6660	E-mail: shimamura-kiyoshi@pref.shiga.lg.jp
第2会場（交流ホール） 17:50～19:20	自由集会3 在宅難病療養者の災害対策～知ろう！考えよう！すすめよう！！～ 世話人：奥田 博子 TEL：048-458-6233	E-mail: okuda.h.aa@niph.go.jp
第3会場（会議ホール） 18:40～20:10	自由集会4 誰でも参画できるインターネット調査プロジェクト：JACSIS/JASTIS 研究のすゝめ 世話人：田淵 貴大	E-mail: tabuchitak@gmail.com
第4会場（1001-2） 18:40～20:10	自由集会5 誰もが納得できる在留外国人の保険医療体制の構築に向けた現場と研究者の自由集会 世話人：杉山 雄大	E-mail: takehiro.sugiyama@gmail.com
第6会場（908） 18:00～19:30	自由集会6 Master of Public Health（MPH）・Doctor of Public Health（DrPH）のつどい 世話人：井上 まり子 TEL：03-3964-1211	E-mail: inoue-ph@med.teikyo-u.ac.jp
第7会場（映像ホール） 18:40～20:10	自由集会7 結核集団発生への対策に関する自由集会 世話人：加藤 誠也 TEL：042-493-5711	E-mail: zama@jata.or.jp
第8会場（910） 18:40～19:40	自由集会8 男性保健師の会 世話人：桂 敏樹	E-mail: rikuya-h@koto.kpu-m.ac.jp
第9会場（904） 18:40～20:10	自由集会9 自治体職員対象 感染症危機管理リーダーシップ研修事業の紹介と実践事例 世話人：和田 耕治	E-mail: le-jinzai@jihs.go.jp
第10会場（902） 18:00～19:30	自由集会10 SAYONARA「公衆衛生に国境はない」：26年目の自由集会から未来へ贈る言葉 世話人：大西 真由美 TEL：095-819-7943	E-mail: mohnishi@nagasaki-u.ac.jp
第11会場（1002） 17:50～19:20	自由集会11 公衆衛生医師の集い（公衆衛生医師の確保や育成に関する話題をテーマとした自由集会） 世話人：兼任 千恵 TEL：0463-32-0130	E-mail: shono.f8ud@pref.kanagawa.lg.jp
第12会場（1003） 17:50～19:20	自由集会12 Evidence into Action：公衆衛生における実証科学の挑戦 世話人：深井 航太 TEL：046-393-1121	E-mail: kota229@tokai.ac.jp
第13会場（1101） 17:50～19:20	自由集会13 災害時における栄養・食生活支援活動の連携とマネジメントを考える 世話人：磯部 澄枝 TEL：025-757-2401	E-mail: isobe.sumie@pref.niigata.lg.jp
第14会場（901） 18:00～20:00	自由集会14 へき地保健師のつどい 広域化で変わる地域保健のかたち 静岡県南伊豆町の挑戦 世話人：櫻井 純子	E-mail: hekichihiokenshi@gmail.com
第16会場（大ホールホワイエ） 18:40～20:10	自由集会15 （理事長指定企画）公衆衛生ってなに？そりゃうまいら～。今年は静岡開催だもんで。 世話人：田宮 菜奈子 TEL：029-853-8324	E-mail: h-jinnouchi@nms.ac.jp

10月30日(木)		
第10会場(902)	10:20～11:20	
自由集会 16	実装研究の手法を活用して、地域にエビデンスを広める：転倒予防の事例から考える 世話人：林 知里 E-mail: chisato_hayashi@cnas.u-hyogo.ac.jp	
第10会場(902)	13:00～15:00	
自由集会 17	輸入感染症、人獣共通感染症（動物由来感染症）について 世話人：伊東 則彦 E-mail: itou.norihiko@pref.hokkaido.lg.jp	
第2会場(交流ホール)	18:20～19:50	
自由集会 18	健康運動指導 介護予防リーダーの養成と運動指導 世話人：篠田 邦彦 E-mail: shinokuma60@gmail.com	
第3会場(会議ホール)	18:20～19:50	
自由集会 19	自殺対策・メンタルヘルス情報交換会「孤独・孤立対策をめぐって」 世話人：立瀬 剛志 E-mail: tatsuse@med.u-toyama.ac.jp	
第4会場(1001-2)	18:30～20:30	
自由集会 20	木と生きるまちづくりとプラネタリーヘルス：木育でつなぐ健康と地域レジリエンス 世話人：田中 笑子 E-mail: warakott@gmail.com	
第5会場(1001-1)	18:10～19:40	
自由集会 21	健やか親子 21 父親の健康支援 世話人：山懸 然太郎（連絡担当：小林しのぶ） E-mail: kobayashi-snb@ncchd.go.jp	
第6会場(908)	18:10～19:40	
自由集会 22	公衆衛生専門管理栄養士認定制度の創設と人材育成を考える 世話人：諸岡 歩 E-mail: Ayumi_Morooka@pref.hyogo.lg.jp	
第7会場(映像ホール)	18:00～19:30	
自由集会 23	感染症情報の現状と展望を考える 世話人：大屋 日登美 TEL：042-769-8348 E-mail: y.harima.xq@city.sagamihara.kanagawa.jp	
第8会場(910)	18:40～20:10	
自由集会 24	地域薬局と自治体・地域との連携・協働を考える 世話人：庄野 あい子 E-mail: shono@ac.shoyaku.ac.jp	
第9会場(904)	17:50～19:20	
自由集会 25	公衆衛生における歯科保健を考える ～食育における歯科口腔保健～ 世話人：芝田 登美子 E-mail: shibat05@pref.mie.lg.jp	
第10会場(902)	18:00～19:30	
自由集会 26	社会医学若手研究者の集い（社会医学若手フォーラム） 世話人：下敷領 一平 TEL：095-975-0121 E-mail: ippei.35sh@gmail.com	
第11会場(1002)	18:00～19:30	
自由集会 27	通いの場から考える高齢者にやさしいまちづくり 世話人：井手 一茂 E-mail: ide.k@chiba-u.jp	
第12会場(1003)	18:00～19:30	
自由集会 28	環境水中の新型コロナウイルス、ポリオウイルス調査で得られた知見、課題、そして感染症対策に向けた今後の展望について 世話人：大久保 一郎（事務担当：吉田 弘） TEL：042-561-0771 E-mail: hyoshida@niid.go.jp	
第13会場(1101)	18:00～20:00	
自由集会 29	「寄り合いワークショップ」手法を活用した住民と「ふくしあ」が協働した地域づくり 世話人：三輪 真知子 TEL：053-439-1400 E-mail: machiko-m@seirei.ac.jp	
第14会場(901)	17:30～19:30	
自由集会 30	世代間交流によるコミュニティ再生を考える会 ―シニアが子どもの発達、コミュニティ再生に果たす役割を考える― 世話人：村山 陽 TEL：03-396-43241（内線 4259） E-mail: yhocho05@tmig.or.jp	
第15会場(大ホール2階控室2・3)	18:00～20:00	
自由集会 31	地域における健康危機管理としての AMR 対策―公衆衛生専門職の役割と多分野連携 世話人：長嶺 路子 TEL：03-3579-2330 E-mail: nagamine.michiko@city.itabashi.tokyo.jp	
第16会場(大ホールホワイエ)	18:00～20:00	
自由集会 32	枠を超える公衆衛生へー 引きこもり当事者や母子保健の事例から職種や立場を超えた連携・協働を考えよう ― (全国いきいき公衆衛生の会) 世話人：尾島 俊之、家入 香代 E-mail: kieiri@iuhw.ac.jp	
(練習室2：地下1F)	18:00～20:00	
自由集会 33	公衆衛生医師の魅力伝える実習・インターンシップを大学と自治体が一緒に考える 世話人：大澤 絵里 E-mail: osawa.e.aa@niph.go.jp	

10月31日(金)		
第9会場(904)	13:00～14:30	
自由集会 34	まちを「どこでもドア」にしよう！全世代型の地域包括ケアを考える 世話人：西岡 大輔 TEL：075-753-4350 E-mail: nishioka.daisuke.3h@kyoto-u.ac.jp	
第10会場(902)	9:00～10:30	
自由集会 35	法医公衆衛生学の展望：「人の死」から見つめる公衆衛生 世話人：田宮 菜奈子 TEL：029-853-8849 E-mail: hsr@md.tsukuba.ac.jp	



静岡県

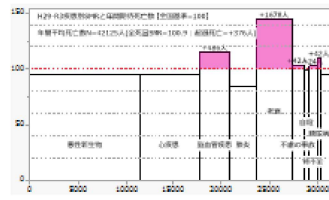
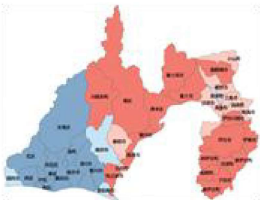
保健師数 136人 栄養士数 24人
人口: 3,559,305人 高齢化率 30.9% 出生数17,439人

【こんな町です】

多様な自然に恵まれ、世界遺産富士山を望む景勝地や温泉地が広がるとともに、東西の文化交流の要衝として栄え、徳川家康ゆかりの地としても知られる歴史深い県です。県には、静岡市、浜松市の政令指定都市を含む35市町があります。

【こんな活動をしています①】

県民や地域の関係者に健康課題を分かりやすく伝えるため、人口動態調査や約75万人の特定健診のデータをもとに、市町における死因別死亡や生活習慣病等の状況をマップ化するなど全国に先駆けた「健康課題の見える化」を進めています。また、市町担当者等を対象に、健康データ等の分析やとりまとめに関する研修の実施のほか、市町内における地区別の分析に関する技術的な支援を行っています。令和3年度には、県立の「静岡社会健康医学大学院大学」を開学し、健康寿命の延伸に資する研究及び人材育成を推進しています。



【こんな活動をしています②】

県では、働く世代の健康づくりを推進するため、企業や事業所が従業員に対して実施する健康経営の取組を推進しています。従業員の健康管理や維持・増進のための具体的な取組目標を宣言する「ふじのくに健康づくり推進事業所」は令和7年3月現在、県内に7,628箇所あります。また、従業員等の健康増進に関する活動に積極的に取り組み、今後もその活動が期待できる事業所について、健康づくり優良企業として累計99の事業所等を表彰しています。

静岡県健康福祉部
健康局 健康政策課・健康増進課
電話番号 054-221-2779



(35) 森町



保健師数 9名 栄養士数 2名
人口: 16,871人 高齢化率 36.7% 出生数 52名

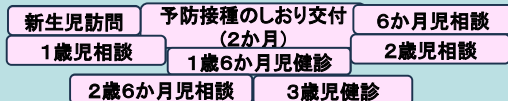


【こんな町です】

森町は、豊かな自然と文化が息づく、住む人も訪れる人も心とらぐ町です。歴史ある神社や寺が点在し、地域の伝統行事や風情ある町並みが魅力的です。また、美しい山々や川に囲まれており、お茶や次郎柿、とうもろこしなどの特産品があります。

【こんな活動をしています①】

令和6年10月にこども家庭センターを設置し、妊産婦やこものいる家庭への切れ目のない相談・支援を実施しています。健康づくりにおいては、出生後から3歳児健康診査まで、半年ごとに健診・相談を実施し、こどもの健やかな成長を支えています。



子育て支援では、親支援教室「はなはぴ」を開催し、育児やしつけについて学んだり、母親同士の交流の場を設けています。



【こんな活動をしています②】

森町は、血圧や血糖の有所見者が多く、慢性腎臓病(透析有)の割合が県や国よりも高い状況にあります。

生活習慣の改善・生活習慣病予防のために、将来を担うこどもや若い世代への健康づくりに力を入れています！

- ・親子クッキングセミナー
- ・幼稚園での食育教室
- ・生活習慣病予防セミナーなど食育を進めています。

『気軽に健康チェックの日(ベジチェック測定等や健康教育)』を杏林堂やリユースマーケット(子育て支援センター)とコラボして行い、若い世代の健康づくりの機会を増やしています。

基本健康診査と保健指導を20歳から受けることができます！

森町役場
静岡県周知郡森町森2101-1
健康こども課
0538-85-6330

k-kodomo@town.shizuoka-mori.lg





(34) 菊川市

しあわせのわきくがわ



保健師数 18 栄養士数 3
人口: 46,961人 高齢化率: 28.2% 出生数: 285人

【こんな町です】

静岡市と浜松市のほぼ真ん中に位置し、市内にはJR東海道本線菊川駅、東名菊川IC、近隣にはJR東海道新幹線掛川駅、富士山静岡空港などを有する利便性に恵まれたまちです。工業団地には自動車関連を中心とした企業が立ち並び、深蒸し茶をはじめとする農産物や田んぼアート、上倉沢棚田などの自然も多くあります。また、健康に対する意識の高さや地域のつながり、温暖な気候などの生活環境も寄与し、令和6年9月に公表されたお達者年齢では男性が3年連続県内第1位となるなど、健康で自然と人のやさしさにあふれたまちです。

【こんな活動をしています①】

○出張健康相談事業「茶ちゃっと！出張健康チェック」

令和5年度から、保健師・栄養士がきくのんのラッピング車両で市内の各所へ出張し、健康チェックを実施しています。

地域のイベントや市内の企業など、様々な団体から依頼をいただき実施することで、子どもから大人まで幅広い世代の方に健康チェックを実施していただいています。

市民にとっては、普段測定できない「血管年齢」や「体脂肪・筋肉量測定」などを行うことで、自身の健康について振り返るきっかけとなっています。

市立病院と連携した健康チェックのイベントも実施しており、市全体で市民の健康を応援しています！

【令和6年度実績】

実施回数 54回 延べ人数 1,332人



茶ちゃっと！
出張健康チェック



思春期健康教育

【こんな活動をしています②】

○思春期健康教育

市内全公立小中学校と市立病院の産婦人科医師や助産師と連携し、小中学校での思春期教育を行っています。

各中学校区の学舎ごとに小中学校の養護教諭と打ち合わせを実施し、生命の誕生から胎児期、出産までの経過、性感染症やデートDV、性的多様性についての講話や赤ちゃん人形を使った体験などを企画し、実施学校と相談して内容を決定しています。助産師、養護教諭と打ち合わせを行うことで、教育現場の現状なども共有することができています。

【令和6年度実績】

実施回数 26回 実人数 1,905人



菊川市役所 健康づくり課

〒439-0019

静岡県菊川市半済1865

電話: 0537-37-1175

メール: kenkou@city.kikugawa.shizuoka.jp



(33) 御前崎市



保健師: 15人 栄養士: 4人 理学療法士: 1人

人口: 29,479人 高齢化率: 32.7% 出生数100人

【こんな町です】

静岡県の最南端に位置する、自然豊かな岬のまち・御前崎市。北部には牧之原台地から続くなだらかな丘陵地が広がり、南部には歴史ある御前崎灯台や、美しい砂丘が連なる遠州灘海岸が広がっています。海と風に恵まれた環境は、ウインドサーフィンをはじめとするマリンスポーツに最適で、国際大会も開催されるほどの人気を誇ります。



【こんな活動をしています①】

＜おまえざき体良教室＞

御前崎市では平成19年度より、おまえざき介護予防運動指導士（以下、指導士）養成講座を開始し、養成した指導士の運営による介護予防と高齢者の通いの場を目的とした“おまえざき体良教室”を開催しています。市は必要に応じて運営のサポートを行い、教室の継続を支援しています。現在、教室は9か所に増え、指導士も270名を超えています。

令和5年度に「第12回健康寿命をのばそう！

アワード介護予防・高齢者生活支援分野 厚生労働大臣優賞」を受賞しました。

今後も“おまえざき体良教室”が継続できるように支援します。



【こんな活動をしています②】

＜健康課題『高血圧』への取り組み＞

御前崎市は、高血圧の有病者やその予備群が多い現状を踏まえ、予防に重点を置いた健康づくり事業を積極的に展開しています。

ハイレスクアプローチとして、「ナトカリ計」を活用し、食塩摂取量と野菜・果物摂取量のバランスを示すことで、個人の食生活に応じた効果的な保健指導を行っています。

ポピュレーションアプローチとして、市民の塩分摂取につながる食習慣を洗い出し、食生活改善を促すチラシの配布や健康セミナーを開催しています。さらに市民プールにて運動習慣を身につけられる運動教室や企業と共同で「まちの保健室」など、地域に向く出前型健康イベントも実施し、市民一人ひとりの健康意識の向上を図り、高血圧予防に取り組んでいます。

御前崎市役所 健康づくり課

〒437-1692

静岡県御前崎市池新田5585 ☎0537-85-1123





(32) 湖西市



保健師数 20人 栄養士数 3人

人口: 56,971人 高齢化率: 28.9% 出生数: 244人

【こんな町です】

静岡県最西端、浜名湖西岸に位置し、湖・海・山に囲まれ、日本唯一現存する新居関所跡や遠州新居手筒花火など、歴史と文化が息づくまちです。自動車関連をはじめとするものづくり産業が盛んで、浜名湖の水産業や温暖な気候を生かした農業が営まれ、豊かな自然に恵まれています。

【こんな活動をしています①】

【食育推進事業】

湖西市の食育ボランティアは、市の委託で幅広い世代に向けた食育活動を行っています。親子料理教室や、高校での朝食講座、メンズクッキング、伝統郷土菓子『すわま』作り教室などを、会員が分担して開催しています。市内高校での朝食講座では、朝食を欠食する生徒が県平均よりも多いことから、味噌玉作りを通じて朝食の重要性を伝えています。

ボランティアの会員数は45名に達し、年々増加しています。市は、住民主体の健康づくりを推進するため、会員が自主的かつ楽しんで活動できる仕組みづくりと、活動の支援に取り組んでいます。



朝食講座



すわま作り教室

【こんな活動をしています②】

【コーちゃん健康マイレージ事業】



健康づくりのための目標を1つ立て、目標に取り組むことで紙のポイントカードまたは、LINEのショップカードからポイントを貯めることができます。期間中何度でも挑戦でき、抽選で素敵な景品がもらえます。令和6年度から小学生以上に対象を拡大し、市民のほか市内在勤の方も参加できます。ある地域では、ポイントカードを高齢者訪問で配布し、地域の会合で健康づくりの取組を発表する場を設けています。また、一部の市内事業所でも社員の健康づくりに活用されています。親子での取組みも増えており、楽しんで健康づくりができるように事業を推進しています。



静岡県湖西市古見1044
湖西市健康福祉センター(おぼと)
健康増進課
電話 053-576-1114
メール kenkou@city.kosai.lg.jp



湖西市
ウェブサイト



(31) 袋井市

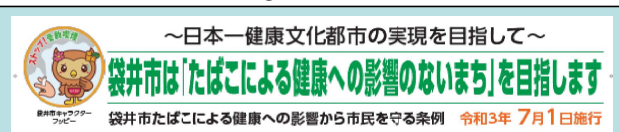
保健師数: 31 栄養士数: 9 精神保健福祉士: 2 社会福祉士: 2 心理士: 2

人口: 87,635人 高齢化率 25.8% 出生数 554人

【こんな町です】

袋井市は静岡県西部に位置し、長い日照時間や美しい茶畑、太田川・原野谷川など豊かな自然に恵まれています。古刹・名刹が点在し、かつては東海道五十三次の重要拠点でした。現在は米や茶、温室メロンのほか、工業や商業も発展し、バランスの取れた田園型都市として栄えています。

【こんな活動をしています①】



「日本一健康文化都市」の実現を目指す本市では、受動喫煙防止対策に加え、喫煙者の減少に努めるほか、たばこによる健康への影響から市民(特に未来を担う子どもや妊婦)を守る観点から、更にもう一歩踏み込んだ対策を講じていくため、令和2年12月に「袋井市たばこによる健康への影響から市民を守る条例」を制定し、令和3年7月に施行しました。取り組みの例として、市内全ての小学校・中学校(小学6年生・中学2年生)へ喫煙防止講座を実施しています。



【こんな活動をしています②】

R7.4月～ 全国に先駆けて
妊婦向けRSウイルスワクチン接種費用助成

子育て世帯の経済的負担を軽減することで、子どもたちが健やかに育つ環境を整えることを目的に実施しています。妊婦さんや医療機関からもご好評をいただいております、予想を大きく上回る成果を上げています。

- 1 対象者 妊娠24週～36週の妊婦
- 2 助成回数 1人1回
- 3 接種費用 15,000円
- 4 接種状況 申請件数 94件 接種件数 61件
(令和7年7月末現在)



袋井市総合健康センター

〒437-0061 袋井市久能2515番地の1

●健康未来課 ☎0538-84-6127

✉ kenkoudukuri@city.fukuroi.shizuoka.jp

●保健予防課 ☎0538-42-7410

✉ yobou@city.fukuroi.shizuoka.jp

●健康長寿課 ☎0538-84-7811

✉ chiikihoukatsu@city.fukuroi.shizuoka.jp





(30) 掛川市



保健師数：35人

栄養士数：4人

※常勤職員数

人口：114,678人

高齢化率：28.7%

出生数：664人

【こんなまちです】

掛川市は静岡県西部に位置し、「掛川城」「高天神城址」「横須賀城址」の三つの城や、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」と深蒸し茶の産地として知られる歴史と文化の豊かなまちです。日本の1,000分の1の縮図ともいえるまちで、豊かな自然に囲まれ、報徳文化が根付く教養あふれる地であり、交通の利便性と暮らしやすさにも恵まれています。

【地域密着と連携強化による保健体制と人材育成】

【事業担当・地区担当複合型分散配置】

住民の健康を支えるため、保健師や栄養士が事業・地区担当制の複合型で活動しています。専門職は健康福祉、こども、危機管理、教育、人事など5部10部署に分散配置され、地域に根ざした支援を展開しています。さらに「徳育保健センター」に健康増進部門とこども家庭センターを配置するとともに、市民生活を総合的に支援する5つの「ふくしあ」を設置し、集約と地域密着型のバランスを考えた体制としています。

【横断・縦断型人材育成】

資質向上や事業連携の強化を目的に毎月「保健事業従事者研修」を実施し、部門を超えた縦断・横断的な人材育成を推進しており、専門性を活かしたきめ細やかな対応と効率的な支援を実現し、健康で活力ある街づくりに貢献しています。

きんじろう健康アプリ
「きんトレ」活用中！



保健事業従事者研修

多職種で総合支援の
地域拠点「ふくしあ」



保健師活躍中！

【地域協働型保健事業の展開】

【住民主体で支えるサポーター制度】

かけがわ
健康サポーター



85人

地域協働型で保健事業推進を図る掛川市では、住民主体の健康づくりを展開し健康意識を高めるため「かけがわ健康サポーター制度」を2025年から導入しました。保健と食育の2分野をターゲットに活動するサポーターと共に、地域に根ざした啓発や教育活動を促進します。

【現役世代と地域の健康を支える取り組み】

かけがわ
健康応援店



33店

現役世代の健康づくりや各種予防の推進を目的に、「かけがわ健康づくり実践事業所」認定事業所と連携し、各種健康教育や歩行姿勢測定などを実施しています。また、「かけがわ健康応援店」を認定し、野菜たっぷり・減塩・グッドバランスの3つの視点から食育を推進します。

〒436-8650

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

健康福祉部 0537-21-1107

fukusibu@city.kakegawa.shizuoka.jp

<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/>



(29) 磐田市

保健師数：38人 栄養士数：4人 歯科衛生士数：1人

人口：164,914人（令和7年4月1日）高齢化率：29.7%（令和7年4月1日）出生数：804人（令和6年）

磐田市は、豊かな自然と活気あるものづくり産業が共存しています。「ジュピロ磐田」や「静岡ブルーレヴズ」の活動拠点としても知られ、スポーツの盛んな街としても有名です。また、古くは遠江国府や見付宿として栄え、歴史的な建造物や史跡も多く残されています。

磐田市の保健師は地区担当制の保健活動を行っています

赤ちゃんから高齢者まで全ての市民を対象にした地区活動

地区担当保健師は、地区の特性や健康課題を捉え、住民が自分らしく健康に生活できるように地区へ出向き、住民主体の健康づくりを推進しています。

地区ごとの取り組み



まちの保健室・出張まちの保健室

交流センターやスーパーマーケット等へ出向き、健康器具を使用した測定やミニ講和を実施しています。



健康経営支援

働き世代の健康増進を目標に、健康意識を高め健康寿命を伸ばすための土台づくりを事業所と一緒にしています。



わたの寄り添い型子育て支援「iぽーと」

安心して妊娠・出産・子育てができるように、地区担当保健師が相談に応じ、不安や悩みに一緒に向き合っています。

母子健康手帳交付時の面談

保健師を身近な存在として認識してもらえるよう、似顔絵やプロフィール入りの名刺を配布しています。



妊娠8か月頃の面談

妊婦やその家族の気持ちに寄り添い出産や子育ての準備をお手伝いしています。

保健師相談日

市内13か所の子育て支援センターに訪問し相談や身体計測を行っています。



妊娠

出産

子育て

プレパパママ教室

妊娠・出産による家族の役割変化が理解できるように支援しています。



赤ちゃん訪問

離乳食教室・すくすく7か月

離乳食や歯磨きの仕方、発達に応じた子どもとの関わりを学べる教室を行っています。

幼児検診・フッ素塗布教室



静岡県磐田市国府台57-7 健康増進課 0538-37-2013

kenko@city.iwata.lg.jp

こども若者家庭センター 0538-37-2012

ko-sodan@city.iwata.lg.jp



(28) 川根本町

保健師数 4人 栄養士数 2人

人口: 5,637人 高齢化率: 51.8% 出生数: 11人

【こんな町です】

静岡県の中央部、大井川の中上流に位置し、町域の9割が森林で占められている、自然豊かな町です。銘茶「川根茶」を中心とする農業や製造業が主な産業で、「夢のつり橋」や「奥大井湖上駅」、寸又峡温泉・接岨峡温泉、日本唯一のアプト式鉄道が走る大井川鐵道などが有名です。本年は、合併により町が誕生してから20周年を迎える節目の年となっています。



【こんな活動をしています①】

町では、みんなの健康を応援する取組として、月に1回、公共施設などで「健康づくり相談」をしています。ここでは、血圧の測定、体の調子のチェック、栄養についての相談を受け付けています。

また、B&G海洋センターでは、毎月夜に「体組成測定」を行っています。これは、日中に仕事をしている人でも、自分の体の状態をチェックできるようにするためです。運動の効果の確認や、健康になるためのアドバイスをしています。

どちらの事業も、健診の後に自分の健康状態を確認したり、運動の成果を実感したり、体や心についてちょっと気になることを気軽に相談できる場所として、実施しています。



【こんな活動をしています②】

高齢化率の高い当町ではありますが、その多くの方がとても元気に生活しています。また、いつまでもこの町で暮らし続けるために、皆、様々な活動に前向きに取り組んでいます。

そんな元気な高齢者を支えたり、高齢者同士が交流したりできる場所のひとつに、「ケアラズカフェ」があります。ここでは皆で集まっておしゃべりしたり、協力員や生活支援コーディネーターが相談を受けたりしています。また、認知症カフェとしても機能しています。困っている人がいれば助け合ったり、逆に助けてもらったりできる、温かい場所です。

小さい町ですが、皆が安心して暮らせるように、支え合う活動をしています。

川根本町役場
静岡県榛原郡川根本町上長尾627
担当連絡先
健康福祉課 0547-56-2224
高齢者福祉課 0547-56-2234



(27) 吉田町

保健師数: 12 栄養士数: 4

人口: 28,844人 高齢化率: 27.0% 出生数: 133

【こんな町です】

南アルプスから流れ出る大井川の伏流水に恵まれ、古くから“うなぎの町”として知られてきました。町の東西に東名高速道路と国道150号が通っており、企業の立地や市街化が進んできました。東日本大震災を契機に市街地には津波避難タワーが、沿岸部には防潮堤が整備され、安全・安心なまちづくりが進められています。

【こんな活動をしています①】

毎日コツコツ健康貯金!! 健康づくりセミナー

糖尿病予備群、高血圧予備群の方が静岡県平均より多い地域です。しかし、このセミナーを聞いたら、帰ってすぐにでも実践したくなる食事や運動、口腔等の健康づくりに関するお話を聞くことができます。

対 象 吉田町民

内 容 食事や運動、口腔等の健康づくりに関するお話、調理実習等

講 師 医師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、民間企業等
実施回数 5回/年



①セミナーのテキスト

②体組成計による計測状況

吉田町PR部長 よし吉

【こんな活動をしています②】

体組成測定で健康状態を知ろう!

町民健康相談やセミナー、町内イベント等で体組成計測定をしています。福祉課や町民課にも活用していただき、多くの町民が自分の身体状況を確認できる場を提供しています。目には見えない体組成を知ることで、生活習慣の改善につなげ、町全体で生活習慣病発症予防をしています。

対 象 吉田町民

内 容 基礎代謝量や内臓脂肪レベル、体幹部・両腕・両足の筋肉量、脂肪量の測定、保健師や管理栄養士による相談

活動実績 延べ181人(R6年度)

吉田町役場 健康づくり課

〒421-0301
静岡県榛原郡吉田町住吉1567
TEL0548-32-7000
E-mail:kenkou@town.yoshida.shizuoka.jp





(26) 牧之原市

市制施行20周年



保健師：20人 栄養士：5人 精神保健福祉士：2人
臨床心理士：2人 社会福祉士：5人 *正規職員のみ
人口：41,970人 高齢化率：33.5% 出生率：3.88%

【こんな町です】

海と山に囲まれ、野菜も魚も美味しいまちです。特に県内有数のお茶処であり、お茶を使ったスイーツも人気を集めています。大河ドラマ「べらぼう」で登場する田沼意次（たぬまおきつぐ）ゆかりの地として有名で、相良史料館にて大河ドラマ展を開催中です。人工波でサーフィンが楽しめる「静波サーフスタジアム」もあります。ぜひ遊びに来てください。

【こんな活動をしています①】

<プレコンセプションケア>

当市ではプレコンセプションケアの推進に力を入れており、幼児期から大人になるまでの取組を整理し、包括的性教育を意識した体系図「牧之原市版0歳からのプレコンセプションケア」を作成しました。

この取組は健康増進計画に位置づけ、特に幼児期へのプライベートゾーン教育には力を入れており、保育施設と連携した楽しい講座を実施しています。今後は、全園に広げ、子どもたちの生きる力を育て、自分も周りも大切に、次代を担う大人に成長していくことを支援していく予定です。



保育園で「だいじ だいじ ど〜こだ」の大型絵本を使って保健師が教室を実施している場面

【こんな活動をしています②】

<まきトレひろば>

当市の医療費分析において、高齢者の筋骨格系疾患と低栄養状態の人が多い状況です。また介護認定者における筋骨格系疾患の有病者は5割以上で、県より高い状況となっており、低栄養予防や転倒骨折予防事業の実施が急務となっていました。そのため高齢者の居場所づくりも兼ねて、令和5年度から「まきトレひろば」を開始し、口コミであっという間に広がり、高齢者の介護予防に繋がっています。今後は、もう少し小さな単位でも拡大していく予定です。



〒421-0422

静岡県牧之原市静波991-1 牧之原市
総合健康福祉センターさざんか
健康推進課（0548-23-0024）

kenko@city.makinohara.lg.jp



(25) 藤枝市

保健師35人(再任用含む) 栄養士5人 公認心理士6人
人口：139,290人 高齢化率31.4% 出生数697人

【こんな町です】

藤枝市は、温暖な気候と豊かな自然があふれる、心地良く、潤いと品格のあるまちです。市の中央を流れる瀬戸川は、春には約2kmに渡る桜トンネルが続きます。蓮華寺池公園は、四季を通じてさまざまな花を楽しむことができ、多くの人で賑わっています。古くは、東海道五十三次の宿場町として、また、難攻不落と称された「田中城」の城下町として栄えた歴史あるまちでもあります。「サッカーのまち」として全国的にも有名で、これまで数多くのプロサッカー選手を輩出してきました。さらに、静岡を代表するお茶の生産地。特に「朝比奈手摘み本玉露」を生産する朝比奈地区は、宇治・八女と並ぶ「玉露の三大産地」です。

【こんな活動をしています①】

健(検)診受診を呼びかける取組や保健委員活動を中心とした“守る健康”と、楽しみながら自然に健康づくりができる取組を提案する“創る健康”を運動させ、市民・事業者・行政が連携して健康寿命の延伸に向けた取組を推進しています。

【“守る健康”】

○「自分の健康は自分で守ろう」「健康づくりを地域ぐるみで進めよう」をスローガンに掲げ自治会組織を基盤とした保健委員は900人を超える組織体制で、40年以上活動しています。地域での保健講座には、多くの人が参加し、顔の見える関係づくりや地域づくりにつながっています。

○地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携協力し、各種健(検)診受診率の向上に取り組み、受診率は県内トップクラスです。

【こんな活動をしています②】

【“創る健康”】

○「ふじえだ健康マイレージ」で健康的な習慣の定着化

「運動」「食事」等の健康行動でポイントを貯めてカードを取得すると、協力店でちょっとした“お得”がもらえる、楽しみながら取り組める仕組みです。

(県との協働事業)

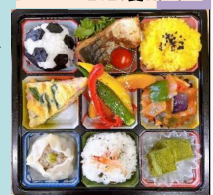
○ヘルシーメニュー普及事業(ふじえだ健やか弁当)

JA大井川や市が認定したヘルシー認定店と連携し、地場産食材を使った栄養バランスの良い弁当を協働で開発し、健康づくりと食育を推進しています。

※ヘルシー認定店とは、ヘルシーメニュー、地場産品の

の使用、減塩メニューの提供など条件を満たしている店など

ふじえだ健やか弁当
～2025夏Ver.～



守る健康

命を守る

- ・免疫予防
- ・重症化予防
- ・地域保健・医療

GO!! がん検診

創る健康

命を輝かせる

- ・豊かなライフスタイル
- ・健康寿命の延伸
- ・ポピュレーションアプローチ

藤枝市役所
担当課：健康福祉部 健やか推進局
健康推進課・健康企画課
住所：静岡県藤枝市南駿河台1-14-1
TEL：054-645-1111

Mail：hokencenter@city.fujieda.shizuoka.jp





(24) 焼津市

保健師数：34人（健康づくり課25人、他9人） 管理栄養士数：2人

人口：134,668人 高齢化率：30.5% 出生数：749人

【こんな町です】

焼津市は静岡県の中央部に位置しています。北は遠く世界遺産の富士山を望み、高草山、花沢山など丘陵部を境に静岡市に接し、東は駿河湾を臨み、西南には大井川流域の志太平野が広がっています。平均気温18.4度、冬季の積雪もまれな温暖な気候で、一年を通して過ごしやすい地域です。



【こんな活動をしています①】

訪問での保健指導に力を入れています

焼津市は糖尿病と高血圧に該当される方が多く、糖尿病性腎症重症化予防の取組に力を入れています。基本的には該当者全員に家庭訪問を行い、実際の生活を教えていただきながら、普段食べているものを実際に見せていただくなど、生活に合った保健指導を実施しています。

平成24年度から家庭訪問を主とした保健指導を実施してきました。市民の方にも受け入れられつつある活動となっています。



大井川庁舎には、脳年齢や血管年齢などを計測できる機器をそろえた「健康見える化コーナー」があります。計測をきっかけに、健康づくりの意識を持っていたけることを目的としています。



【こんな活動をしています②】

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を

初年度の令和2年度からスタートしました

高齢者への保健事業を令和2年度から実施しています。本市では糖尿病性腎症重症化予防が大きな課題であるため、生活習慣病重症化予防を目的に、血圧や血糖などをテーマに集団や個別の支援を行っています。その他、口腔フレイルや身体的フレイル予防の教室も行っています。

身体的フレイル予防の教室では、生活支援コーディネーターや地域包括支援センタースタッフと連携して事業実施し、新しい通いの場の創設にもつながりました。



焼津市役所アトレ庁舎1階

焼津市本町5-6-1

健康づくり課054-627-4111

こども家庭センター母子保健担当

054-627-4115



(23) 島田市

島田市
緑茶化
計画

保健師数 23人 栄養士数 2人

人口：94,270人 高齢化率：32.5% 出生数：481人

【こんな町です】

静岡県のほぼ中央に位置し、北には南アルプスへと続く山々と、南アルプスに源を発し、駿河湾にそそぐ大井川が市内を流れています。銘茶の産地が数多くあり、新茶の季節になると大地が萌黄色に染まる、自然豊かな街です。

【こんな活動をしています①】

【島田市 T(適)E(塩)・A(アクション)プロジェクト】

高血圧症などの生活習慣病予防のため、子どもから高齢者まで幅広く「適塩」を知り、「適塩」生活を送ることができる地域づくりの推進を目的として、健康関連機関だけでなく、商工会等民間とも連携し、啓発キャラクター「ヘルしろ」を活用した健康教育や普及啓発活動を行っています。

特に保育園や小学校への健康教育では、劇を通して楽しく・わかりやすい「適塩」学習を実施。子どもたちを通じて家庭や地域に「適塩」を普及するために健康教育から普及啓発につなげる一連の取り組みとして実施しています。



【こんな活動をしています②】

【「しまトレ」等の推進～介護予防の取り組み～】

新総合事業を平成27年4月から開始し、平成30年度から新たな体制で①周知②地域住民主体の取り組み推進③総合事業利用者のケアプラン見直しに取り組みしました。特に②では、住民主体のしまトレ実施団体が増加!!

「しまトレ」実施団体：102か所
「しまトレ」⇒島田を元気にする体操

市と各地域包括支援センターが自立支援促進の視点を共有し、総合事業通所介護の【卒業】とその後の【行き先】となる地域住民主体の通いの場(しまトレ)等の創出と推進を行ってきました。



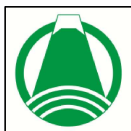
島田市役所：島田市中央町1-1

島田市保健福祉センターはなみずき

：島市中河町283-1

健康づくり課 ☎ 0547(34)3281





(22) 富士市

シティプロモーション大使
「さもにやん」 渡辺富士市



保健師数56人 栄養士数 22人(令和7年4月1日現在)
人口:245,541人 高齢化率:28.9% 出生数:1,263人
(令和7年4月1日現在) (令和6年度 県高齢者福祉行政の基礎調査) (令和6年)

【こんなまちです】

県内第3位の人口で、北側には富士山、南は駿河湾に面しています。温暖な気候と豊富な地下水に恵まれ、製紙産業や化学・電気機械等を主軸とした産業都市です。また、東海道新幹線や高速道路、国道1号線が横断し、交通の要衝となっています。来年市政60周年を迎えます。

【こんな活動をしています①】

ふじ職域健康リーダー設置推進事業

中小規模事業所を中心に、働き盛り世代の検診受診率向上や生活習慣病予防のため職域の健康対策を行っています。

ふじ職域健康リーダーは、事業所から選任された健康管理の担当で、行政からの健康支援の窓口を担っています。R7.3.31現在で156事業所が設置し、職場の健康づくりを進めています。

具体的な支援内容

- ①働き世代向けの健康について研修の実施
- ②事業所での健康講座、健康チェックの実施
- ③フードモデル等物品の貸し出し

①



②



【こんな活動をしています②】

産前産後サポート事業「ママのおうち」

助産所・地区まちづくりセンター・カフェを開放し、民間の力も借りながら実施しています。妊産婦等が家庭や地域での孤立感の解消のための居場所となり、妊娠・出産や子育てに関する不安や悩みに、助産師・保育士等の相談しやすい「話し相手」による相談支援を行っています。令和7年度から、父親支援として「パパのおうち」も実施しています。妊婦の夫・父親が抱く不安や子ども・妻への関わり方、自らの役割等について、先輩パパを招き、健やかな育児ができるよう支援しています。

①地域保健課

富士市本市場432番地の1 富士市フィナンセ
電話:0545-64-8993
mail:ho-chiiki@div.city.fuji.shizuoka.jp

②こども家庭課

富士市永田町1丁目100番地 富士市役所
電話:0545-55-2896
mail:kodomokatei@div.city.fuji.shizuoka.jp



富士市
ウェブサイト



(21) 富士宮市

保健師32人 栄養士数5人 理学療法士1人 歯科衛生士2人
人口:126,348人 高齢化率31.1% 出生数537人

富士山の南西麓に位置し、豊かな自然の中で歴史と文化が育まれ、富士山本宮浅間大社の門前町として発展してきたまちです。気温は温暖で、富士山をはじめ、広大な森林高原、豊富な湧き水等豊かな資源を拝啓に、多面的な産業が発展し、おいしく特徴あり多様な食材があります。

庁舎から富士山が一望できます



【こんな活動をしています①】

【気軽に減塩(へるしお)】

高血圧対策として、市民の食塩摂取量減少を目指し減塩啓発に力を入れています。市民が商品購入する際に、数ある商品の中から減塩調味料等を選択できるよう、減塩ホップを添付する取り組みをスーパー等と連携して推進しています。



【介護予防ボランティアの育成と活用】

介護予防ボランティア4団体
(筋トレ応援隊、食育ボランティアななくさ会、脳トレの会、8020推進委員会)を育成しています。市内各所通いの場等で、それぞれの団体が学んだことを伝達し、介護予防を推進しています。



【こんな活動をしています②】

【パパの育参加を応援！】

家事と育児に関するアンケート調査後『ミヤパパBook』を作成しました。母子健康手帳交付時に配布しています。パパの育児参加を応援し、富士宮市で子育てを楽しむ『ミヤパパ』を増やしていきたいです。



子育て時間誌は宝物
ミヤパパ
BOOK

富士宮市市役所
富士宮市弓沢町150
富士宮市健康増進課
富士宮市宮原12-1
0544-22-2727
kenko@city.fujinomiya.lg.jp





(20) 小山町



保健師 8人 栄養士数 4人 (こども園の栄養士含む)
人口: 16,766人 高齢化率: 32.7% 出生数: 62人

【こんな町です】

静岡県の北東端に位置し、町の北西端は富士山頂に達しており、須走口から富士登山ができます。神奈川県、山梨県に隣接し、富士山や箱根外輪山(金時山・足柄峠)に囲まれ、昔話で有名な「足柄山の金太郎」の生誕の地として知られています。

【こんな活動をしています①】

クアオルト健康ウォーキング

個人の体力に合わせた無理をしない、がんばらないウォーキングで、心身のリラックスや健康寿命の延伸を目指しています。肌を冷たくさらさらの状態にすることで、持久力を高めます。

「クアの道」定例ウォーキング

- ① 須走・富士山眺望コース(3.5Km)
- ② 足柄古道・銚子ヶ淵コース(2.94Km)

実践指導者(専任ガイド)が

健康チェック、心拍数、
血圧測定を行いながら、
ビューポイントの見学や
森林浴などのアクティ
ビティ等を取り入れ、心身
の健康や生活の充実を
図っています。



静岡県内で
ここだけ!!



【こんな活動をしています②】

出張健康相談会 健康屋さん

疾病予防や健康づくりに関心を持つことができるよう、各地域の公共施設を会場として、健康機器で健康度チェックや、運動・食事・口腔状態の面から専門職による相談をおこなっています。

インボディ

筋肉と体脂肪量
をチェック

骨密度計

骨の健康度
をチェック

ベジメーター

野菜不足
をチェック

保健委員が地域住民に声かけをし、参加を促しています。

小山町役場

〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲57-2
小山町健康福祉会館(健康増進課)
〒410-1311
静岡県駿東郡小山町小山75-7
電話 0550-76-6668
メール kenkou@fuji-oyama.jp



(19) 御殿場市



保健師数: 24名 栄養士数: 3名
人口: 82,979人 高齢化率: 26.6% 出生数: 485人

【こんな町です】

県東部の自然豊かな高原都市で、夏でも朝夕は涼しく過ごしやすい気候です。東名高速道路や国道が縦断しており、観光名所の富士山などで国内外から訪れる人が多く、ごてんばこしひかりや水かけ菜など農業も盛んで、自衛隊関連施設も多くあります。

【こんな活動をしています①】

【食育事業 ~野菜を食べよう! ごてんば350大作戦~】

野菜摂取量の不足、朝食の欠食が多い現状を踏まえ、生活習慣病関連因子である野菜摂取量の増加を目的として事業を進めています。野菜摂取量を可視化し、市民が食生活を振り返る機会を提供し、特に摂取量が少ない青壮年期では高校や企業に伺って、健康教育や普及啓発活動を行っています。今後も関係団体と連携し、家庭や地域を通じて全市民が生涯を通し生き生きと暮らすことができるよう食育事業を進めていきます。

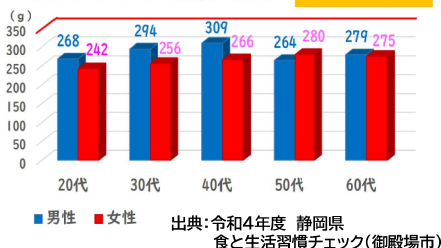


【こんな活動をしています②】

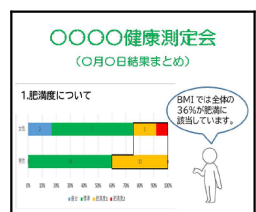
【健康づくり事業~団体の健活を応援します~】

企業や地域、子育て世代等の各種団体に対し、アウトリーチ型の相談や教育、啓発活動を積極的に実施しています。各団体の特性やニーズを踏まえ調整し、体組成等の測定や、健康運動指導士等による教育、ときには継続的なプログラムも行っています。測定結果のフィードバックにより、団体の傾向を共有し、個々の健康づくりへの動機づけに努めています。「社内の雰囲気が悪くなった」「今後の健康経営推進の参考にしたい」といったご意見もいただいています。

御殿場市の野菜摂取状況 平均 80g 不足!



測定結果のフィードバック



御殿場市健康推進課(保健センター)

〒412-0027 御殿場市西田中237-7
電話: 0550-82-1111
メール: kenko@city.gotemba.lg.jp



市公式HP



(18)長泉町



【こんな町です】

長泉町は、静岡県東部に位置する県内有数の人口増加率と出生率を誇る子育て世代に人気の町です。交通アクセスによる利便性が高く、民間企業による住民満足度調査では令和7年度「住みこちランキング」全国4位(7年連続で県下1位)を獲得しています。町の強みとして、良好な住環境、確かな財政基盤、地域医療体制の充実、安心な子育て環境があるなど、複合的な要素により転入者が増加、特に若い世代・子育て世代の転入者が増えることや、出生数の増加により人口増につながっています。

【こんな活動をしています①】

県内でも高齢化率が最も低い町であり、子育てに優しい町として母子保健に力を入れて取り組んでいます。妊娠時からママたちの交流を図れる機会の提供をしたり、予約がなくても計測できる乳幼児健康相談の実施をしています。成長・発達に心配を持つ親子のための健診事後教室の充実、不安を抱える親子が地域で生活していくために次の支援先につながるまで寄り添った支援を実施し、福祉の専門機関へバトンタッチしています。



健診事後教室



おともだちと楽しく
新聞あそび

がん検診ポスター



【こんな活動をしています②】

がんセンターの城下町としてがん対策に力を入れた事業を実施しています。

- ・がん対策推進条例を制定し、町、町民、専門職、教育関係者などそれぞれの責務・役割が定められています。
- ・県内の市町で唯一、各種がん検診の自己負担を無償化。がん患者医療補整具購入支援事業、妊よう性温存治療支援事業、小児・若年がん患者在宅療養生活支援事業、禁煙外来治療費助成事業を実施しています。
- ・中学2年生を対象としたピロリ菌検査事業を実施し、胃がんの一次予防のために自分の体を知ることにつなげています。



駿東郡長泉町中土狩828

長泉町役場

駿東郡長泉町納米里549

健康増進課

055-986-8760

boshi@town.nagaizumi.lg.jp



(17)清水町

保健師9人 栄養士3人 精神保健福祉士1人 社会福祉士1人

人口:31,501人

高齢化率:26.8%

出生率:7.1人

【こんな町です】

清水町は、静岡県東部の中心に位置し、東西約2.7km、南北4.5kmで面積が8.81km²の県内で最も小さくコンパクトな町です。町には豊かな自然環境が残されており、国指定天然記念物である柿田川が町の中心部を流れています。また、病院や多くの診療所が立地しており、医療体制が充実しています。

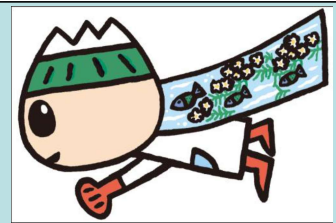
【こんな活動をしています①】

まち歩きアプリPLUS-Walk清水町

健康づくり事業として、楽しみながら、一人でも気軽に運動できるウォーキングの普及と、日々の歩数記録や体重・血圧・睡眠時間を登録することで健康行動につなげるために健康記録が見える化しています。貯まったけんこうポイントは、地域通貨である“ゆうすいポイント”と交換ができます。

導入2022.12～

登録者数3,851人(2025.6末)



【こんな活動をしています②】

プレパパママ教室など子育て支援事業

安心して妊娠・出産・子育て期を過ごせるように、さまざまな講習会・相談会・交流会を実施しています。

ママ・パパと一緒に参加してくださる御家庭も多く、毎回とても和やかで優しい雰囲気の会が開催されています。

2023年出生数:238人
2024年出生数:187人



駿東郡清水町堂庭63番地の1

健幸づくり課

055-971-5151





(16) 函南町



保健師15人 栄養士数 1人

人口: 35,568人

高齢化率 33.0

出生数 163人

【函南町(かなみちよう)はこんな町です】

伊豆半島の玄関口に位置し、首都圏へのアクセスが良い場所にありながら、富士山の眺めをはじめとした豊かな自然環境に恵まれた町です。国の選定による水源の森百選に選ばれた「函南原生林」や富士山の絶景ポイント「十国峠」など、美しい四季は見どころ満載です。函南すいかの特産品や丹那牛乳をはじめとする「函南ブランド」には絶品がたくさんあります。

【健康・栄養・助産師相談】

・赤ちゃんからご年配の方まで誰でも利用できる「健康・栄養相談・助産師相談」を週1回、函南町保健福祉センターで開いています。身体計測、母乳量の測定、血圧、体組成計やベジチェックなどの健康チェックも行っています。

「子育てほっとサロン」の中でも健康相談を実施しており、子育て中のママ同士のおしゃべりや情報交換の機会ともなっています。



【かなみちようくらトレーニング(ちよっトレ)発信】

・運動の機会が少なくなった人へ向けて、気軽に運動ができるトレーニング動画を作成しました。無理せずできる、4種類のトレーニングとストレッチが好評です。

健康寿命の延伸につながるよう、フレイル予防の普及啓発に取り組んでいます。

Youtubeにて
無料配信中♪



函南町健康づくりキャラクターけんぴい

函南町役場厚生部 健康づくり課
〒419-0107
静岡県田方郡函南町平井717-28
☎ 055(978)7100



(15) 伊豆の国市



保健師数:17人 栄養士数:3人 (臨床心理士:1人 社会福祉士:1人)

人口:45,791人

高齢化率:34.5%

出生数:179人

【こんな町です】

伊豆の国市は、伊豆半島の北部、田方平野のほぼ中央に位置します。東は箱根山系の連山に、西は城山、葛城山などの山々に囲まれ豊かな自然環境を保っています。平野部は南北に狩野川が流れ、豊かな田園地帯が広がり、狩野川に沿うように国道136号、伊豆箱根鉄道が走り、周辺に市街地を形成しています。東京からは100km圏域にあり、東海道新幹線、東名高速道路を利用して2時間弱の所要時間であり、首都圏とのアクセスもよく、交通の利便性に恵まれています。

【ママのためのこころ湯る〜り講座 / Moms Salon】

○「ママのためのこころ湯る〜り講座」

市内温泉施設を活用した集団型産後ケア事業です(年4回開催)。育児に関する講座や参加者同士の交流のほか、赤ちゃんを託児スタッフに預け、ママたちが温泉や昼食、産後の体を整える骨盤ケアなどを体験できる内容となっています。

○「Moms Salon」

産後のママが他の参加者のママと交流したり、骨盤ケアやヘッドマッサージなどを受けてリフレッシュしたりすることを目的に開催しています。ママ同士のおしゃべりや保健師・助産師との悩み相談、子ども身体運動発達指導士や理学療法士によるストレッチ、セラピストによるヘッド・ハンドマッサージも行われ、産後のママが心身をケアする癒しの時間となっています。



▲ ストレッチで身体をほぐすママたち



▲ Moms Salonにて
こどもの手形を記念作製

【医療と福祉の多職種勉強会】

(公財)伊豆保健医療センターや(福)伊豆医療福祉センター等と協働し、医療・福祉の視点を活かした「誰もが安心して暮らせる地域づくりのための多職種勉強会」を行っています。

こども、障がい者、高齢者など属性の枠にとらわれず、防災、ボランティア、歯科、困窮、外国人労働など幅広い視点からの「地域づくりの活動」を共有し、顔の見える関係づくりとお互いの活動の理解を深めています。

この多職種勉強会がきっかけで、様々な新しい地域づくり活動が誕生しました。



伊豆の国市役所 健康福祉部

伊豆の国市田京299-6 (大仁庁舎)

長寿介護課 ☎0558-76-8010 こども家庭センター ☎0558-76-8008

社会福祉課 ☎0558-76-8004 障がい福祉課 ☎0558-76-8007

伊豆の国市四日町302-1 (葦山福祉・保健センター内)

健康づくり課 ☎055-949-6820





(14)伊豆市

保健師数15 看護師数2 栄養士数3

人口: 27,404人

高齢化率 43.2%

出生数 72人

【こんな町です】

伊豆市は伊豆半島の中央部に位置し、天城連山、駿河湾、そして市内を流れる狩野川。豊かな自然環境に恵まれ、温暖な気候が、春には満開の桜や新緑が山々を彩り、夏は溪流や滝が涼をもたらします。秋には紅葉が美しく、冬でも温暖な気候のため、のんびりと温泉に浸かることができます。清らかな水で育つわさびや、肉厚なしいたけが特産です。山海の幸が堪能できます。

【こんな活動をしています①】

🍎 市内助産院とタイアップした妊産婦支援 🍎

伊豆半島唯一の分娩ができる助産院と連携し、産後ケア事業はもちろん、産前産後ママ応援事業・助産師寄り添い事業・両親学級を展開し、多岐にわたる妊産婦のニーズに対応しています。

🍎 ベビープログラムでママ友づくり支援 🍎

第1子を子育て中のママを対象に、育児中の不安を共有したり、お子さんへの接し方などをファシリテーターの進行で学ぶプログラムを提供しています。第2子以降も同様の講座を開催し、ママ友づくりにもつながっています。

ママ友グループには、保健センターなど公共施設を無料で貸し出し、継続した交流をはかれるよう支援しています。



【こんな活動をしています②】

～げ(減塩)・ん(運動)・き(禁煙)プロジェクト～

市民が生きいきと暮らせるよう、健康づくりを応援しています。

【減塩】野菜マシマシの推進

市内の飲食店と連携し、野菜をたっぷり使った「マシマシメニュー」を提供しています。外食でも健康的な食事ができる環境を整えます。

※野菜マシマシ提供店は、こちらから→

【運動】げんきフィットネス

1人1スポーツを目指し、運動習慣を取り入れてもらうきっかけづくりとして、エアロビクス・ボクササイズ・ヨガなど有酸素運動と筋トレを組み合わせた教室を開催し、月に1回楽しく汗を流しています。

【禁煙】卒煙講座

たばこをやめたい人のための「卒煙講座」保健師と市内薬局の薬剤師がタッグを組み6か月間寄り添いながらサポートします。



伊豆市役所

静岡県伊豆市小立野38-2

健康長寿課 電話 0558-72-9861

Mail kenko@city.izu.shizuoka.jp

子育て支援課 電話0558-72-9850

Mail boshi@city.izu.shizuoka.jp



(13)裾野市

保健師数:16人 助産師数:1人 栄養士数:1人 歯科衛生士:1人

人口:48,375人

高齢化率:29.2%

出生数:268人

【こんな町です】

静岡県の東、富士山のふもとに広がり、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山と豊かな自然に囲まれた工業のまちです。気候は温暖で、交通の便も良く、豊かな自然と産業が調和しています。「人と企業にえらばれるまち」を目指しています。

【こんな活動をしています①】

寄り道ウォーキング

裾野市では、気軽に楽しく運動習慣を身につけられる「寄り道ウォーキング」を毎週開催しています。これは、第2次すその健康増進プランに基づく健康づくり事業です。福祉保健会館または市内スーパーをスタート地点に、3～6kmのコースを自分のペースで歩けるのが特徴です。時間内に戻ればOKなので、無理なく参加できます。予約は不要で、平均参加者数は48人と、地域に根付いた人気の取り組みです。

この事業は、日常生活の中で歩数を増やし、意識的に身体を動かす人を増やすことを目的としており、運動促進と習慣化の両面から市民の健康を支えています。参加者同士の交流も生まれ、楽しみながら健康づくりができる場として、多くの市民に親しまれています。



←ウォーキング ↑ 8020推進員

【こんな活動をしています②】

裾野市の歯科保健事業 ～地域の健康を支えるチームの力～

市には常勤の歯科衛生士が配置されており、乳幼児から高齢者まで、ライフステージに応じたきめ細やかな支援を行っています。また、駿東歯科医師会裾野市支部の先生方のご協力のもと、専門的な知見を活かした健診や相談事業が実施されており、安心して受診できる体制が整っています。

さらに、地域には歯科保健ボランティア組織である8020推進員があり、啓発活動やイベントの運営など、住民の皆さまとの橋渡し役として活躍しています。

市民の健康づくりを支えるこの連携体制は、裾野市ならではの強みです。

成人歯周疾患健診の受診率は静岡県平均を上回り、県内初の「歯科口腔保健条例」も平成22年に制定。これからも市民の口腔の健康を守る事業を展開していきます。

〒410-1117

裾野市石脇524-1(裾野市福祉保健会館1階)

裾野市健康推進課

TEL055-992-5711 fax055-992-5733





(12)三島市

保健師数 30人 栄養士数 4人 精神保健福祉士 3人
人口:103,029人 高齢化率 30.9% 出生数 518人

【こんな町です】

三島市は、古くは伊豆国の国府が置かれ、東海道五十三次の宿場として栄え、近年は首都圏へのアクセスの良さからベッドタウンとしても発展してきました。また、富士山の伏流水がせせらぎとなって街なかを流れる歴史や自然豊かなまちです。箱根の西側の斜面地では、高品質の露地野菜が栽培され、箱根西麓三島野菜として高い評価を受けています。うなぎやB級グルメのみしまコロッケも人気です。

【こんな活動をしています①】

「スマートウエルネスみしま」の推進

あらゆる分野に健康の視点を取り入れ、人もまちも産業までも健康で幸せなまちづくり「スマートウエルネスみしま」を推進しています。無関心層へのアプローチを主眼に置き、働き世代・子育て世代をターゲットに、「健康経営の支援」に注力。減った脂肪の量を競う「脂肪燃えるんピック」、女性のスポーツ習慣化なども開催しています。

また、楽しみながら健康づくりができるアプリ「KENPOS」を導入し、健康リテラシーの向上やまちの活性化を図っています。

さらに、暮らしているだけで健康になれるまちを目指し、ガーデンシティによる魅力あるまちづくりや、地域のきづなづくりに取り組み、外出機会の増加や人と繋がることによる健康リスクの低減を図っています。



健康づくりアプリ「KENPOS」



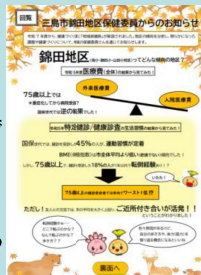
子育てママ運動応援プロジェクト
Inスターバックス三島玉川店

【こんな活動をしています②】

「地域との連携による保健活動」の展開

地域の特性に応じた保健活動を、自治会から選出される保健委員と連携しながら進めています。令和7年度から市内を5地区に分け、それぞれに担当保健師を配置、地区の分析を行っています。分析結果を保健委員と共有する中でグループワークを実施、地区の特性や実情に応じた保健・健康活動を検討し、各種講座や測定会など、地域の健康課題に沿った事業を協働で展開しています。

また、地域で開催される各団体の会議や避難所運営会議に出席し、地域との顔の見える関係の構築に努めています。



三島市(健康づくり課)

〒411-0832
静岡県三島市南二日町8番35号
三島市立保健センター
電話 055-973-3700
mail kenkou@city.mishima.shizuoka.jp



(11)沼津市

保健師数 45人 栄養士数4人
人口:184,563人 高齢化率 32.7% 出生数 872人 出生率 4.6%
※出生数、出生率はR5年

【こんな町です】

沼津市は令和5年に市制施行100周年を迎えました。駿河湾、富士山を望む豊かな自然を活かした地域資源豊富なまちです。特に漁業面では全国有数の取扱量を誇り、あじのひものは特産品のひとつです。農業は寿太郎温州みかんや沼津茶の栽培、あしたか牛など畜産業も行われています。アニメ作品「ラブライブ!サンシャイン!」の聖地として、市内各地に多くのファンが訪れています。

【こんな活動をしています①】

握力王決定戦で楽しく健康PR! ~アスクラロ沼津発の取組~

健康普及啓発活動の一環として、沼津市を拠点とするプロサッカークラブ「アスクラロ沼津」の選手の握力測定を行い、握力上位6選手の顔写真と数値を掲載したパネル「握力王決定戦」を作成しました。このパネルを、ホームゲームのイベントスペースに展示し、来場者が選手と競いながら握力測定を楽しく体験できる企画を実施しました。

また、握力測定に加え、肥満予防の啓発、特定健診やがん検診の受診促進、乳がんモデル触診体験、熱中症予防の啓発なども行い、健康づくりへの関心を高める活動を展開しました。

今後も地域団体や企業と協力しながら、市民の健康づくりを支援する取組みを進めていきます。

アスクラロホームゲームに
おける握力王決定戦

女性の健康講座
in沼津港大型展望水門びゅうお



【こんな活動をしています②】

毎日の意識があなたを守る

~プレスト・アウェアネス普及活動~

全国的に女性の乳がん罹患数は乳がんが最も多いことから、沼津市では乳がん検診受診率向上策としてプレスト・アウェアネスの普及啓発に力を入れています。幼児健診会場や商業施設などで乳がんモデルを使用した触診体験を行い、「自分の乳房を毎日少し意識する」、それだけで命を守る大切な一歩になることを伝えています。また毎年3月1日~8日の「女性の健康週間」に合わせて女性向けのイベントを開催しています。女性特有の健康に関する講話に加え、ZUMBAやピラティス等の運動を行い、自分の健康状態に意識を向ける機会を提供しています。



健診助奨キャラクター
「めまるん」

沼津市役所(健康づくり課)
〒410-0881
静岡県沼津市八幡町97
電話 055-951-3480
mail kenkou@city.numazu.lg.jp





(10)伊東市

保健師数：19人 栄養士数：2人

人口：63,974人 高齢化率：44.4% 出生数：190人

※保健師及び栄養士数、人口、高齢化率はR7.4.1現在、出生数はR6の値

【こんな町です】

伊豆半島の最東端に位置する伊東市は、静岡県内でも一番の総湯量を誇る風光明媚な温泉観光地です。また、2018年に伊豆半島はユネスコ世界ジオパークに認定され、市内にも大室山や城ヶ崎海岸など多くのジオサイトが点在している自然豊かなまちでもあります。みかんやひもの、お茶、アイランドルビートマトなどが名産で、食べ物もおいしいところです。

【こんな活動をしています①】

【職域と連携した健康づくり事業】

伊東市は、観光に関連した中小企業が多いまちです。働く世代の健康づくりを推進していくため、食品衛生協会や商工会議所と連携して、健診会場での健康相談や健康づくり事業のPRをしたり、事業所等に伺い健康教育を実施したりしています。また、市内スポーツ施設と連携した運動教室や食育推進のための食生活講座をはじめ、土日や夜間開講の健康講座など、健康づくりの多様なニーズに対応する事業を展開しています。

《健康推進課》



伊東市健康推進課では
YouTubeチャンネルを開設しています。
管理栄養士や歯科衛生士が作成した
「バランスクッキング」や「口腔ケア」の動画を
アップしています。ぜひ、ご覧ください！



【こんな活動をしています②】

【温泉地ならではの産後ケア温泉地ならではの産後ケア事業】

妊娠期から子育て期まで安心して過ごせるように、様々な事業を展開しています。その中でも市内の宿泊施設を利用したゆったりと温泉入浴や昼食、客室の休息ができる2つの事業が好評です。「いで湯型デイサービス事業(集団型)」妊婦やママたちの交流やリフレッシュの場をつくっています。

「ホテル型デイサービス事業」
産後の母体回復のための休息や
育児サポートを行っています。

《子育て支援課》



伊東市健康推進課

〒414-8555 伊東市大原二丁目1番1号

電話：0557-32-1630

メール：kenkou@city.ito.shizuoka.jp



市公式HP



(09)熱海市

保健師数：17名 栄養士数：3名

人口：33,055人 高齢化率：48.8% 出生数：72人

【こんな町です】

静岡県の東部に位置しており、神奈川県と隣接しています。周囲を山に囲まれ、また海に面した地形です。豊かな山の幸・海の幸があり、外食産業も盛んです。新幹線の最寄り駅として都市部からのアクセスがよく、天然温泉にも恵まれています。また、年間を通じて海上花火大会が開催され、季節に関係なく年間15回程度楽しむことができます。熱海梅園、MOA美術館、来宮神社など多様な観光スポットも魅力です。

【こんな活動をしています①】

＜共食の推進＞

高齢者の独居や単独世帯が多い市です。食を通してコミュニケーションを図る楽しい活動が、孤食やフレイル予防へと導きます。管理栄養士が地域に向き健康で美味しいレシピで地域の共食を応援します。



＜支えあう地域＞

各地域から健康づくり推進委員が推薦され、約60名が活動しています。健診受診勧奨キャンペーンや地域で行う出前講座の企画、地域住民の今を知る大事な存在です。市民と行政をつなぐ役割としても大きな力を発揮しています。



【こんな活動をしています②】

＜きめ細やかな母子保健活動＞

出生数が少ないため、継続した顔が見える支援が可能です。保健師・管理栄養士は、こどもの成長を共に確認しながらサポートしていきます。このような伴走型の支援は、母子とその家族にとって大きな安心感へとつながります。

また、地域に点在する母子の仲間作りもサポートしています。「リフレッシュママ事業」は、アロマオイルで癒しの要素を取り入れ、骨盤体操でリラックスを促します。同じ悩みを抱える仲間づくりの機会とすることで自然と母親力を身に付けられるよう支援しています。

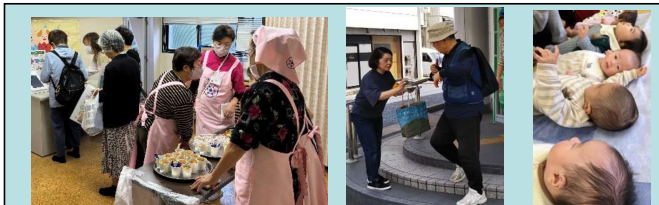


＜熱海市役所＞

住所：静岡県熱海市中央町1-1

担当課：健康づくり課

電話：0557-86-6296





(08)西伊豆町

保健師数 6人 栄養士数 1人

人口:6,568人 高齢化率 53.1% 出生数 5人

【“ふるさと”と言いたくなる夕陽のまち】

黒潮の影響を強く受け、年間を通じて温暖で、過ごしやすい気候です。富士箱根伊豆国立公園及び名勝伊豆西南海岸の指定を受けた自然景観に恵まれ、水平線に沈む美しい夕陽はまちの誇りです。最近では映画やCM、ドラマ、音楽のMVの撮影に使われています！

【地域で支える健康長寿なまちを目指して！こんな活動をしています！】

・当町では車が主な移動手段になっており、歩く機会が限られています。ウォーキングは手軽にできる健康づくりの一つです。歩く機会を増やしてもらうために、独自の健康アプリを始めました。ポイントは地域通貨に還元されます。

・出生数は少ないですが、妊婦さんから乳幼児まで一同に会した管理栄養士、助産師、歯科衛生士、保健師による相談事業等を行っています。また、認定こども園や子育て支援センター等関係機関と連携し、子育てをサポートしています。



高齢化率が県内で一番高い町ですが、高齢者の皆さんの方が元気に暮らしています。身近な場所で住民同士が効果的な介護予防を継続し、いつまでも自分らしく暮らしていける取り組みとして「ご近所型介護予防」を行っています。

- ・ 町内各地でラジオ体操
- ・ シルバーリハビリ体操指導士養成講座、元気アップサポーター養成講座の開催
- ※ 卒業された皆さんが町内地区にサロンを立ち上げ、住民主体の居場所づくりに取り組んでいます。

西伊豆町役場
住 所: 静岡県賀茂郡 西伊豆町仁科401-1
担当課: 健康福祉課
電 話: 0558-52-1116



(07)松崎町



保健師数 3人 栄養士数 1人

人口:5,589人 高齢化率 50.8% 出生率 1.3

【こんな町です】

伊豆半島の西海岸に位置し、西は駿河湾に面し三方は山に囲まれています。四季を通じ温暖であり、雪が積もることはほぼありませんが、冬になると季節風の西風が強くなります。観光を中心とした第3次産業が主となっていて、特産品は全国シェア70%の桜葉です。郷土の偉人として、幕末の漢学者の土屋三余、松崎の産業・農業・海運・教育に多大な貢献をした実業家の依田佐二平、北海道十勝開拓の先駆者の依田勉三の三人を三聖として称えています。

【こんな活動をしています①】

○たまひよサークル

令和6年度の出生数は7人と少なく、同世代の子ども同士の関わりや保護者間のコミュニケーションの場の提供が難しくなっています。そこで、対象をしばらず、妊娠期から子育て世代として交流をしていくことを目的に、既存の母子相談事業や児童館のお遊び会の見直しを行いました。妊婦から子育て中の母子が集い、交流・情報交換を行ったり、助産師による妊産婦の相談、保健師・管理栄養士・歯科衛生士によるお子さんの各種相談、読み聞かせボランティアによるブックスタート事業、児童館職員によるお遊びなどを年6回、多職種連携のもと、行っています。



たまひよ



座談会

【こんな活動をしています②】

○健康座談会

高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施のポピュレーションアプローチとして、地域の通いの場に出向き、健康座談会を行っています。松崎町は高血圧の方がとても多いです。また、鉄道が整備されておらず車での移動が主となっているためか、体を動かす習慣のある人が少ないです。健康座談会では、高血圧予防について保健師・管理栄養士が伝え、フレイル予防として、タニタのインストラクターによる転ばないための運動を行っています。

松崎町役場 健康福祉課
〒410-3696
静岡県賀茂郡松崎町宮内301-1
電話 0558-42-3966
メール fukushi@town.matsuzaki.lg.jp





(06) 南伊豆町

保健師数：6 栄養士数：1
人口：7,259人 高齢化率：48.5% 出生数：20

【こんな町です】

伊豆半島の最南端に位置し、都心からわずか170分の南の楽園！日本の渚100選に選ばれる「弓ヶ浜」や、景勝地として有名な「石廊崎」、有数の湧出量を誇る「下賀茂温泉」等がある、観光地です。交通等の不便はありますが、ゆったりとした時間の中で、本当の空と海、そして本当の豊かさを感じることができます。

【こんな活動をしています①】

ママの湯ったりリフレッシュステイ(産後ケア事業)

年間出生数が約20人、町内に出産や育児に関する社会資源が乏しいこと等を踏まえ、町内の温泉民宿を活用し、産後の母子がゆったり過ごせる交流の場を提供する事業です。

- <対象> 産後1～5か月までの母子
- <内容> 乳房ケア、各種相談(母乳、育児、栄養、歯科等)、入浴、沐浴、保護者同士の昼食会など
- <従事者> 保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、子育てサポーターなど
- <実施状況> 年6回、午前10時～午後2時30分、※1回あたり利用者：4組程度



温泉民宿で楽しく美味しいランチ



はつらつ運動サポーターによる地区活動

石廊崎灯台鑑人化キャラ



【こんな活動をしています②】

はつらつ運動サポーターの養成(地区組織活動)

高齢化率が48%超で、介護認定理由上位に転倒骨折等の健康課題がある現状を踏まえ、地区住民が日常的に運動する機会をつくるため、地区活動の担い手となるサポーターを養成し、地区で活躍していただいています。「転倒しない脚づくり」や「脳トレ」を目的とした、『リンゴ体操』を考案しました!!

- <メンバー> 養成講座修了者 28名※60～70代の女性が大半
- <活動内容> ・地区サロン等でリンゴ体操の普及啓発
・町介護予防事業等の支援
・地区での自主活動の展開(体操サロン、脳トレサロンを主催)
- <活動実績> 183回/延べ3,568人(R6実績)

南伊豆町役場 健康増進課

〒415-0392
静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
Tel:0558-62-6255
E-mail:kenkouz@town.minamizu.shizuoka.jp



(05) 河津町

保健師数：7人(再任用・会計年度含む) 栄養士数：1人
人口：6,300人 高齢化率：43.8% 出生数：19人

【こんな町です】

伊豆半島の南端に近い東海岸沿いに位置し、天城山系の豊かな森林を源とする、清流「河津川」が相模湾にそそぐ自然豊かな町です。早咲きの桜「河津桜」が有名で、2～3月にかけて開催される「河津桜まつり」は毎年多くの花見客でにぎわいます。



【こんな活動をしています①】

<手厚い母子保健活動～学齢期までの子育て支援>

妊娠期から幼児期の各種母子保健事業はもちろんのこと、就園後・就学後も、他課・多職種連携のもと切れ目のない子育て支援を行っています。

- ・集団での4か月児・10か月児健診
- ・子育て支援施設へ出向いての育児相談事業
- ・身近な場所での療育教室、相談体制
- ・幼稚園・小中学校への巡回相談、就学支援委員会等の教育委員会事業への参画

2歳児相談・育児相談の様子



減塩キャンペーンの様子



【こんな活動をしています②】

<高血圧対策>

町の健康課題にもなっている高血圧に対し、健診会場で…家庭血圧測定のすすめ、ベジチェックを用いた野菜摂取量のチェック、血圧の気になる方への個別保健指導を行っています。

町内スーパーで…減塩商品の普及啓発を目的とした店頭キャンペーン(特設ワゴン設置)、減塩に関する店内ポップの掲示および店内放送の活用、食生活推進員おすすめの健康レシピカードの配架等の取り組みを通じ、買い物の場でも減塩の大切さを意識してもらえよう、店舗の協力を得て食環境整備に努めています。

河津町役場 健康増進課

〒413-0595
静岡県賀茂郡河津町田中212-2
☎ 0558-34-1937
✉ hoken@town.kawazu.lg.jp





(04) 東伊豆町

保健師5名 栄養士3名

人口: 11,014人 高齢化率: 47.1% 出生数: 20人

【こんな町です】

東伊豆町は温暖な気候と美しい海岸線が魅力の町です。漁業と観光が盛んで、温泉やつるし飾り、稲取細野高原、おいしい稲取キンメなど山と海に恵まれ、自然豊かな環境が自慢です。

【こんな活動をしています①】

「生涯を通じた歯科保健活動」

う蝕の割合が県と比較多いため、妊娠中、生後6ヵ月から3歳6ヵ月まで半年に1回は相談、教室、健診の中で歯科衛生士による個別指導を行い、継続して確認ができるようにしている。その他にこども園、幼稚園、小学校での歯みがき教室、シーラント事業、こども園、幼稚園、小学校でのフッ素洗口を実施。オーラルフレイル予防だけでなく、孫のむし歯予防についても考えてもらいたいと考え令和5年度より高齢者の通いの場等で歯科衛生士の講話、フッ素洗口や拭き戻しを使った口腔体操を実施している。



↑ ①「通いの場での教室」の様子



↓ ①「歯みがき教室」の様子



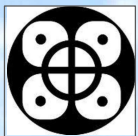
↑ ②「すわトレ」体操の様子

【こんな活動をしています②】

「通いの場づくりを通して、健康とつながりを支える出前健康教室のモデル事業」

高齢者の孤立や体力低下が課題となる中、令和7年度から町内のマンション住民を対象に、座って行える筋トレ「すわトレ」体操を実施。希望者にはEMS（電気筋肉刺激）機器「フットフィット」を貸し出し、安全に足裏を刺激しながら運動機能向上を図るとともに交流促進とQOL向上を目指します。期間は3ヵ月間、マンション内のトレーニングルームで月1回出前健康教室開催、毎週定期的にマンション内の談話室にて自主的にDVDを見ながら体操を実施しています。

東伊豆町保健福祉センター
(東伊豆町役場健康づくり課健康増進係)
賀茂郡東伊豆町白田306番地
0557-22-2300



(03) 下田市

保健師数 5名 栄養士数 2名

人口: 19,016人 高齢化率 43.2% 出生数 66人

【こんな町です】

伊豆半島の南端に位置する下田市は、天城山系に続く山々から太平洋を望む海岸線に至る美しい景観を有しています。また、豊富に湧出する温泉や、美しい海を活用したマリンスポーツ、幕末開港期を代表とした歴史や文化など、多くの観光資源に恵まれています。

【リトルママの会】

本市では産前産後サポート事業として、「リトルママの会」を開催しています。子育てに関する悩みや困りごと等を助産師や保健師などを交えて話し合うことで不安を軽減し、あわせて地域の母親同士の仲間づくりを促し、安心して育児に臨めるようサポートすることを目的としています。

対象は概ね2ヵ月から5ヵ月までの親子です。

会の前半では、参加者が輪になり、赤ちゃんコミュニケーションを取るためのインファントマッサージを助産師から学びます。その後、自己紹介をしてから、育児への不安・悩みを参加者や助産師などと共有します。



【フレイル予防教室】

食・運動・測定を組み合わせたフレイル予防について高齢者が健康で自立した生活を地域で長く続けられるように体力測定・食事指導・運動指導を一体的に実施するプログラムを展開しています。年2回、市内24カ所を巡り、体組成（筋肉量・体脂肪など）測定、立ち上がり動作による下肢筋力を測定。「身体発達点数・体重から見た筋肉発達程度」を年2回測定し、「筋力アップ課題を見える化」しています。日常生活で無理なく継続できるよう運動指導しています。また高齢期の栄養課題である塩分摂取制限と、蛋白質摂取について講話や資料を通じて啓発しています。

下田市ホームページ

下田市 東本郷1丁目5番18号
市民保健課 健康づくり係
TEL:0558-22-2217





(02)浜松市



保健師数 184人 栄養士数 20人
人口: 770,969人 高齢化率: 28.8% 出生数: 4,527人

【こんな市です】

浜松市は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた政令指定都市です。「やらまいか精神」で知られるチャレンジ精神あふれる気質と、ものづくりの伝統が根付く産業都市として発展してきました。多彩な文化や歴史、世界に誇る技術力を持つ企業が集積する、バランスの取れた魅力あふれる都市です。

【こんな活動をしています①】

＜野菜摂取量増加のための働きかけ＞

市内中学生を対象に、野菜摂取状況を可視化する皮膚カロテン測定器(ベジメータ(R))を活用した健康教育を実施しています。子どもの健やかな成長と将来の生活習慣病の予防を目的に、望ましい食習慣の定着を図る取組です。家庭科教諭と連携を図り、授業で測定を行っています。自らの食習慣を振り返る機会を通して、将来健康で過ごすために必要な野菜摂取量の増加につなげます。



【こんな活動をしています②】

＜プレコンセプションケアの推進＞

中学生、高校生、大学生や20歳代の若い世代が、日々の生活や健康と向き合うことで、次世代の子どもの健康につながるようプレコンセプションケアを推進しています。「未来の自分を考える講座」や啓発イベントの開催、SNSなどを活用した情報発信を通し、若い世代を中心に妊娠と年齢の関係や、健康的な生活習慣、HPVワクチン等の正しい知識を周知啓発することで、自身の健康、Well-beingの実現や将来の健やかな妊娠や出産につながるよう取り組んでいます。

浜松市健康福祉部健康増進課
浜松市中央区鴨江二丁目11-2
TEL:053-453-6125
E-mail: kenko@city.hamamatsu.shizuoka.jp



(01)静岡市



保健師数 131人 栄養士数 19人
人口: 668,452人 高齢化率 18.0% 出生数 3,486人

【こんな町です】

家康公が愛し、最後の地に選んだまちです。平成17年に政令指定都市に移行しました。『オクシズ(本市の中山間地域)あり、しずまえ(本市の前浜)あり、おまち(本市の市街地)あり』人も気候も温かく「静岡市はいいねえ。」なまちです。

【こんな活動をしています①】

地域保健分野の保健師活動は、昭和の時代から地区担当制を継続し、地域の関係機関や関係者と顔の見える関係を築いて、地域と連携して対応しています。また担当地区の地区診断により、健康課題を保健委員や自治会等の地区組織と共有、課題解決に向けての働きかけについて相談し、協力を得ながら地区住民への啓発活動を行っています。

地域主催の子育て支援や市独自の「S型デイサービス」「しぞ〜かでん伝体操」の活動グループをはじめとした介護予防の場への支援を行う中で、地区担当保健師も地域の方々からパワーを頂いて活動しています。



【こんな活動をしています②】

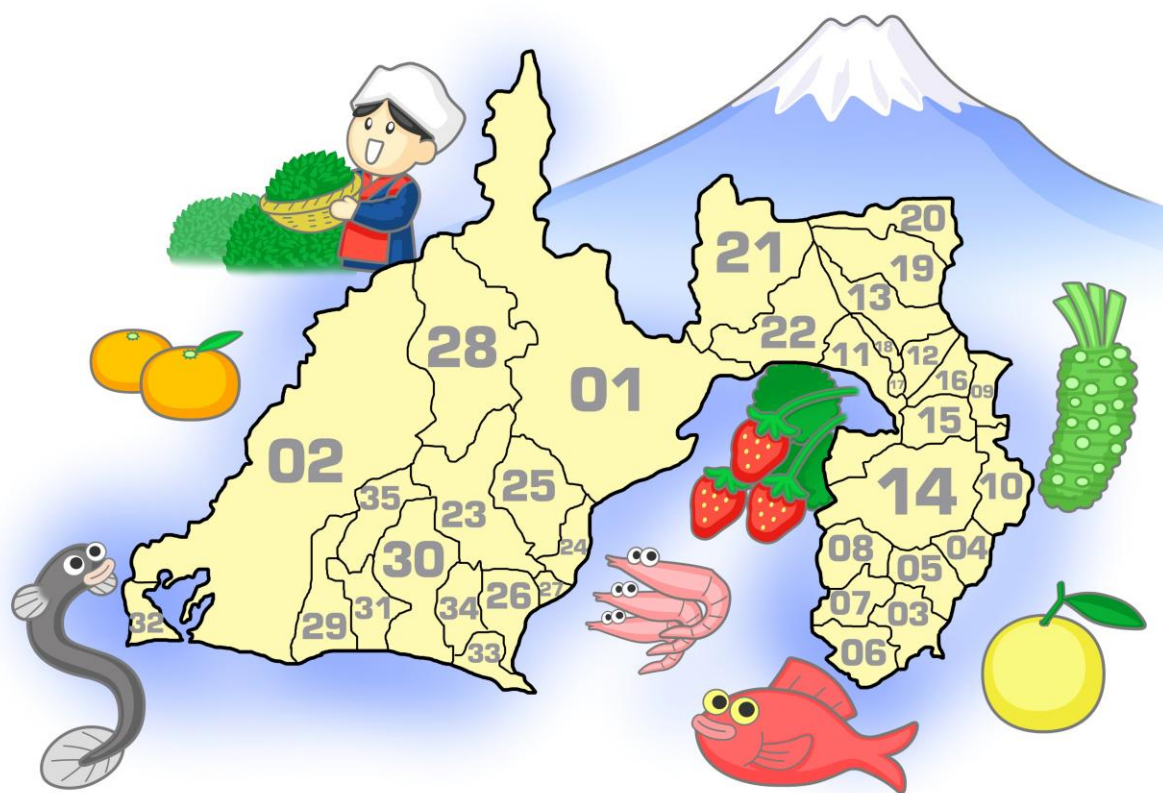
聴こえの2次検診は中等度～高度難聴児の早期発見・早期療育を目的に県立総合病院の協力のもと、1歳6か月児健康診査後の事後フォローとしてH12年度より開始しています。健診等で聴こえ難さが疑われる児などを対象に、保健師による問診・言語聴覚士による条件詮索反応聴力検査(COR)・医師による診察等で聴力評価を実施します。R6年度の検診受診者は119名、内34名に紹介状が出されています。過去5年間で中等度以上の難聴児はいませんが、今後も医療と連携しながら、新生児スクリーニング後にも発生しうる難聴をできるだけ早期に発見し、適切にフォローしていく取り組みを継続していきます。

静岡市役所
静岡市葵区追手町5-1
健康づくり推進課 054-221-1571
葵区役所健康支援課 054-249-3196
駿河区役所健康支援課 054-285-8377
清水区役所健康支援課 054-348-7981



静岡市HP

静岡県市町保健活動紹介小冊子



01 静岡市	-----	P.43	19 御殿場市	-----	P.34
02 浜松市	-----	P.43	20 小山町	-----	P.34
03 下田市	-----	P.42	21 富士宮市	-----	P.33
04 東伊豆町	-----	P.42	22 富士市	-----	P.33
05 河津町	-----	P.41	23 島田市	-----	P.32
06 南伊豆町	-----	P.41	24 焼津市	-----	P.32
07 松崎町	-----	P.40	25 藤枝市	-----	P.31
08 西伊豆町	-----	P.40	26 牧之原市	-----	P.31
09 熱海市	-----	P.39	27 吉田町	-----	P.30
10 伊東市	-----	P.39	28 川根本町	-----	P.30
11 沼津市	-----	P.38	29 磐田市	-----	P.29
12 三島市	-----	P.38	30 掛川市	-----	P.29
13 裾野市	-----	P.37	31 袋井市	-----	P.28
14 伊豆市	-----	P.37	32 湖西市	-----	P.28
15 伊豆の国市	-----	P.36	33 御前崎市	-----	P.27
16 函南町	-----	P.36	34 菊川市	-----	P.27
17 清水町	-----	P.35	35 森町	-----	P.26
18 長泉町	-----	P.35	静岡県	-----	P.26

※各統計は以下を参照しています

・保健師数、栄養士数等…令和7年4月1日現在の常勤者の数(産育休含む)
・高齢化率…令和7年度 県高齢者福祉行政の基礎調査

・人口…令和7年4月1日現在 推計人口
・出生数…令和6年の出生数